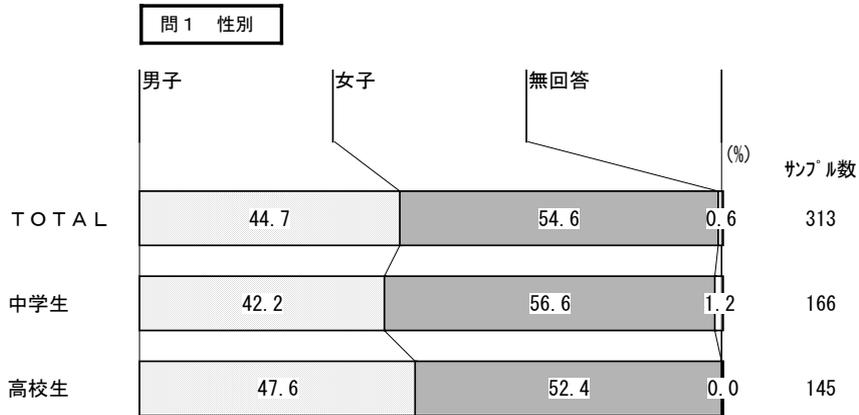


Ⅲ 中学生・高校生調査

1 基本属性

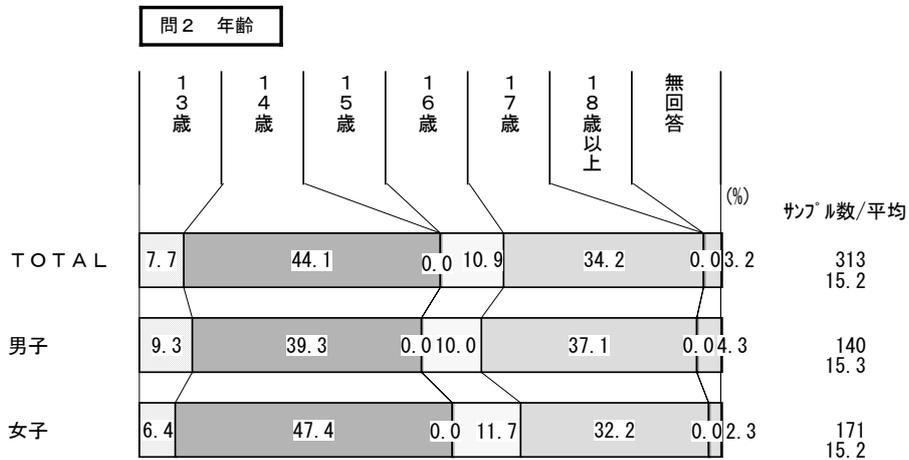
(1) 性別 (問1)

有効回答が得られた 313 人のうち、男子が 44.7%、女子が 54.6%である。



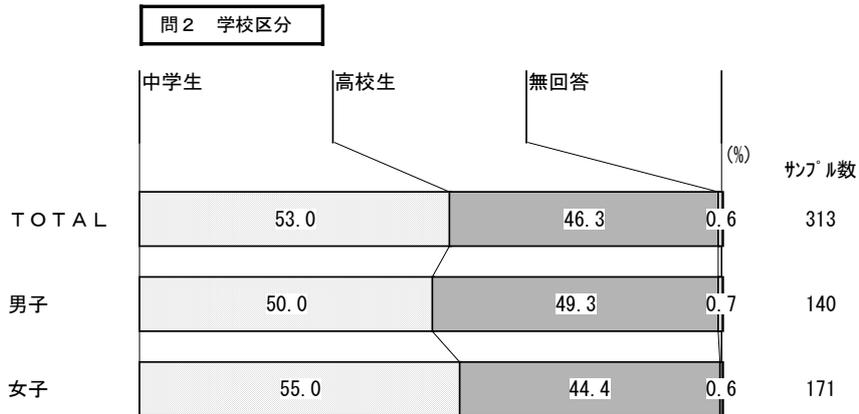
(2) 年齢 (問2)

年齢は、中2と高2年代を対象としており、「13歳」が7.7%、「14歳」が44.1%、「15歳」が0.0%、「16歳」が10.9%、「17歳」が34.2%、「18歳以上」が0.0%である。



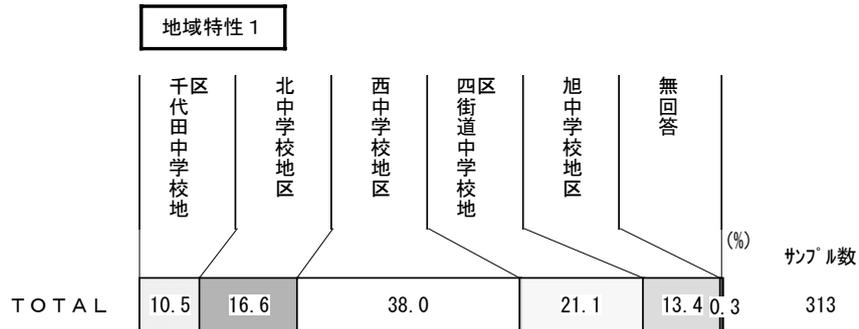
(3) 学校区分 (問2)

学校の区分は、「中学生」が53.0%、「高校生」が46.3%である。



(4) 居住地域 (問3)

居住地域を中学校区で見ると、「千代田中学校地区」が10.5%、「北中学校地区」が16.6%、「西中学校地区」が38.0%、「四街道中学校地区」が21.1%、「旭中学校地区」が13.4%である。



千代田中学校地区	亀崎、物井、長岡、内黒田、千代田、池花
北中学校地区	栗山、萱橋、大日(緑ヶ丘・桜ヶ丘以外)、鹿渡、つくし座、さちが丘
西中学校地区	下志津新田、四街道、大日(緑ヶ丘・桜ヶ丘)、鹿放ヶ丘、さつきヶ丘
四街道中学校地区	和良比、みのり町、美しが丘、めいわ
旭中学校地区	山梨、吉岡、小名木、成山・中台・中野、南波佐間・上野・和田、旭が丘、みそら、鷹の台

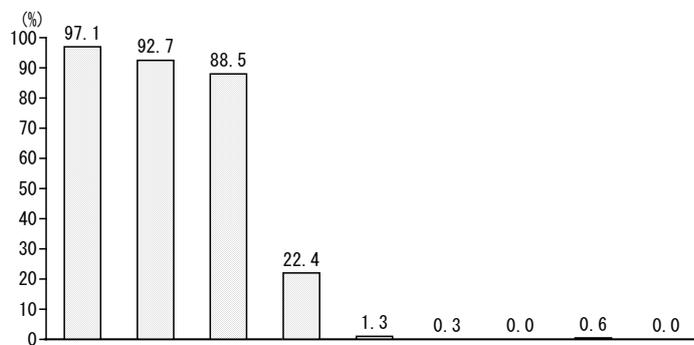
※中学校区については、便宜上地域名で区分しており、実際の中学校区とは異なる場合がある。

(5) 現在同居している人 (問4)

現在同居している人は、「母」が97.1%、「父」が92.7%である。兄弟姉妹が同居している人は88.5%、「祖父、祖母」が同居している人は22.4%となっている。

問4 現在同居している人 (複数回答)

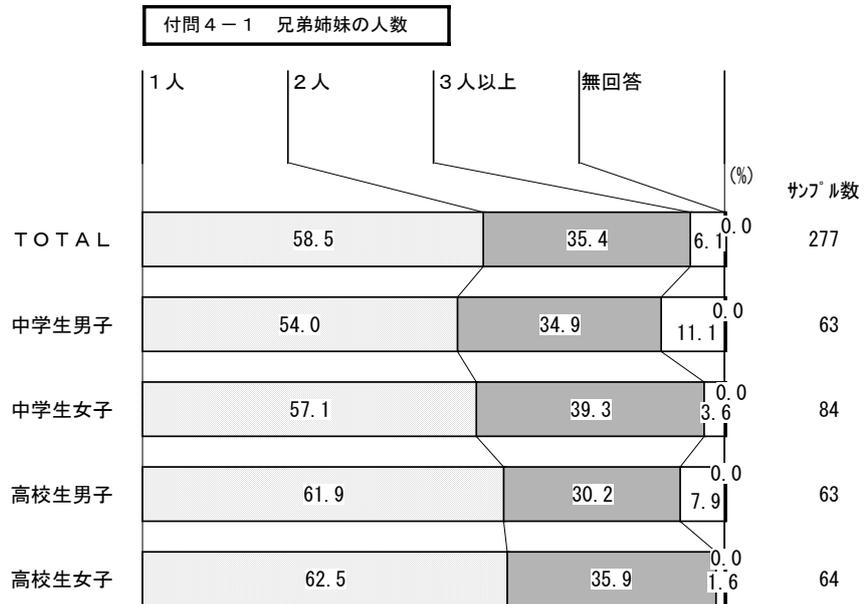
□ TOTAL n=313



中・高×性別	n	2	1	4	3	5	6	7	8	9
		母	父	兄弟姉妹	祖父、祖母	その他親せき	学生寮	ひとり暮らし	その他	無回答
0 TOTAL	313	97.1	92.7	88.5	22.4	1.3	0.3	0.0	0.6	0.0
1 中学生男子	70	97.1	91.4	90.0	15.7	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0
3 高校生男子	69	97.1	94.2	91.3	27.5	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0
2 中学生女子	94	98.9	94.7	89.4	26.6	2.1	0.0	0.0	1.1	0.0
4 高校生女子	76	96.1	90.8	84.2	19.7	1.3	0.0	0.0	1.3	0.0

(6) 兄弟姉妹の人数 (問5)

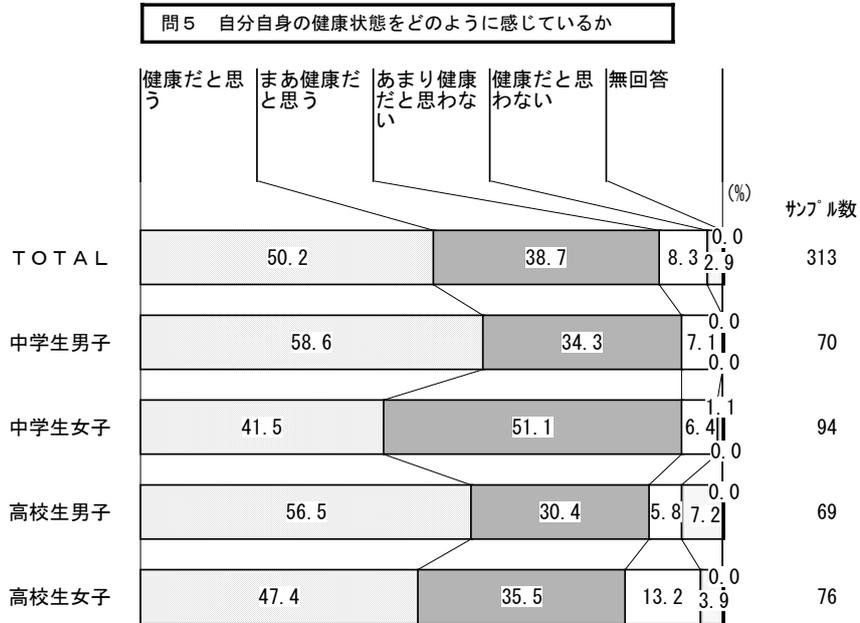
問4で兄弟姉妹が同居していると回答した人に、兄弟姉妹の人数をたずねたところ、「1人」が最も多く58.5%、次いで「2人」が35.4%、「3人以上」が6.1%である。



2 健康状態・健康について

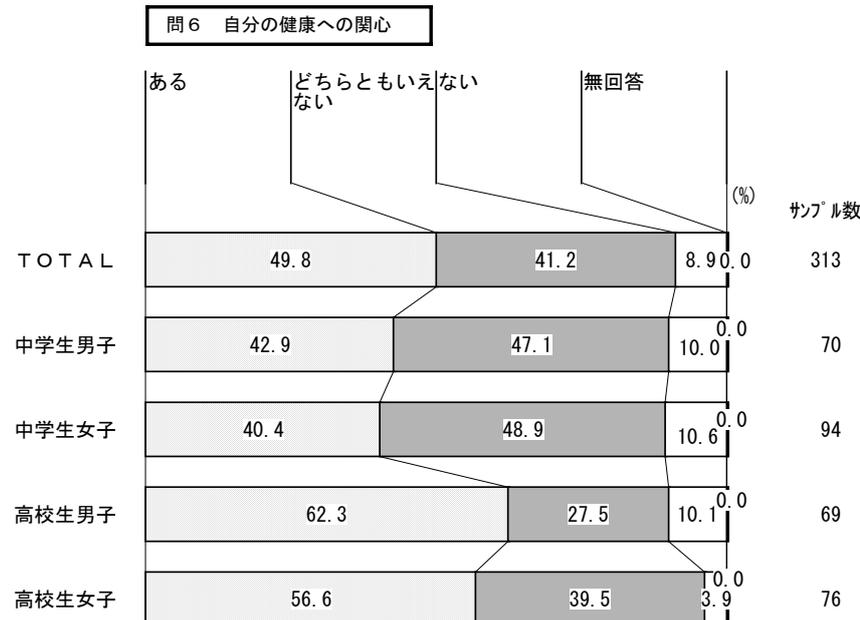
(1) 自分自身の健康状態の認識 (問5)

「健康だと思う」が最も多く 50.2%である。次いで「まあ健康だと思う」が 38.7%、「あまり健康だと思わない」が 8.3%、「健康だと思わない」が 2.9%である。
 学年・性別でみると、中学生・高校生ともに男子のほうが「健康だと思う」と回答した割合が高く、中学生男子は 58.6%、高校生男子は 56.5%である。



(2) 自分自身の健康への関心 (問6)

自分の健康への関心については、「ある」が 49.8%、「どちらともいえない」が 41.2%、「ない」が 8.9%である。
 学年・性別でみると、高校生のほうが「ある」と回答している割合が高く、高校生男子は 62.3%、高校生女子は 56.6%である。

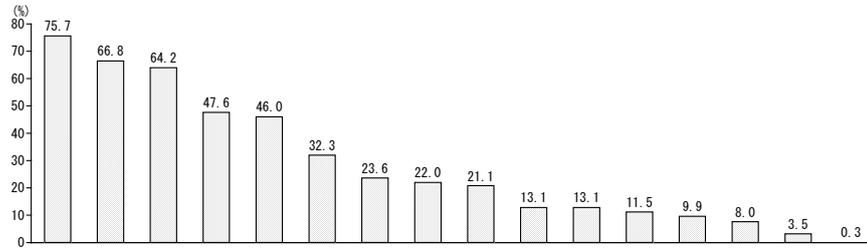


(3) 「健康とはなにか」の問いに対しての自身の考え (問7)

自分の考えにあうものでは、「身体が丈夫で元気がよく調子がよいこと」が75.7%で最も多く、次いで「心身ともに健やかなこと」(66.8%)、「病気でないこと」(64.2%)、「規則正しい生活ができること」(47.6%)、「快食・快眠・快便」(46.0%)となっている。

問7 「健康とはなんですか」という問いに対しての自身の考え (複数回答)

□ TOTAL n=313

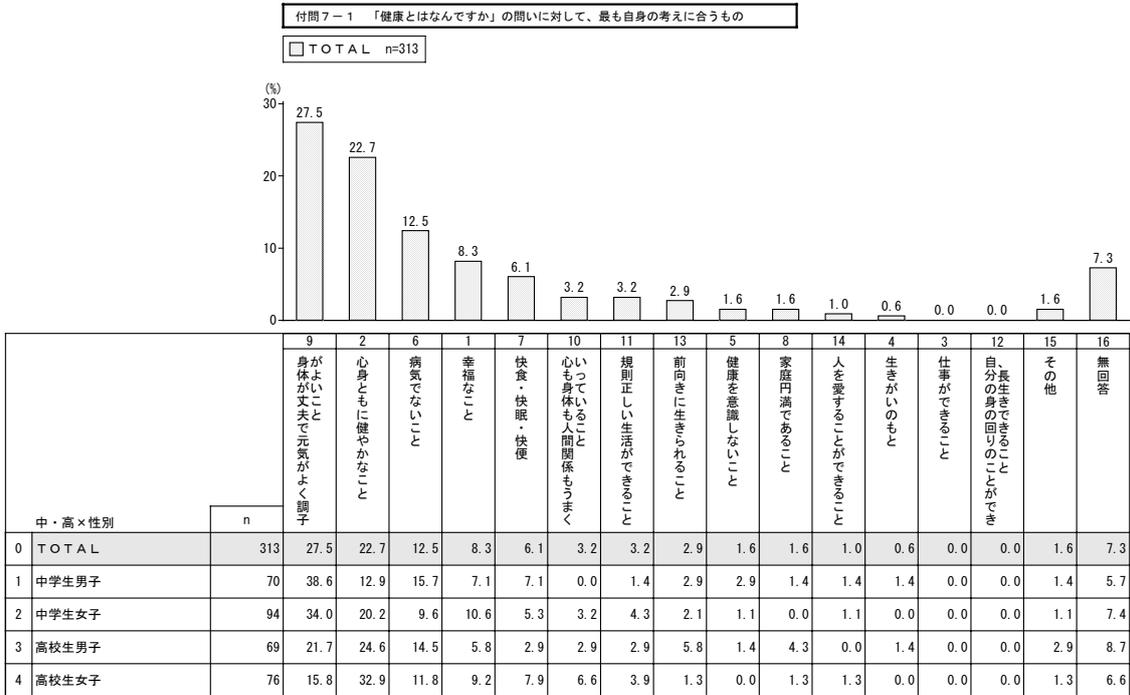


中・高×性別	n	9	2	6	11	7	1	12	10	13	4	8	3	14	5	15	16
		身体が丈夫で元気がよく調子がよいこと	心身ともに健やかなこと	病気でないこと	規則正しい生活ができること	快食・快眠・快便	幸福なこと	自分長生きできること、自分の身の回りのことができること	心も身体も人間関係もうまくいっていること	前向きに生きられること	生きがいのもと	家庭円満であること	仕事ができること	人を愛することができること	健康を意識しないこと	その他	無回答
0 TOTAL	313	75.7	66.8	64.2	47.6	46.0	32.3	23.6	22.0	21.1	13.1	13.1	11.5	9.9	8.0	3.5	0.3
1 中学生男子	70	72.9	55.7	58.6	42.9	38.6	25.7	20.0	11.4	18.6	17.1	7.1	5.7	8.6	5.7	1.4	0.0
2 中学生女子	94	79.8	70.2	71.3	54.3	46.8	37.2	25.5	22.3	20.2	13.8	14.9	6.4	7.4	8.5	3.2	1.1
3 高校生男子	69	73.9	65.2	63.8	46.4	44.9	29.0	20.3	29.0	26.1	11.6	17.4	17.4	13.0	10.1	7.2	0.0
4 高校生女子	76	77.6	75.0	60.5	47.4	52.6	35.5	28.9	26.3	19.7	9.2	13.2	17.1	11.8	6.6	2.6	0.0

(4) 「健康とはなにか」の問いに対して最も自身の考えに合うもの（付問7-1）

問7の回答で、最も自身の考えに合うものでは、「身体が丈夫で元気がよく調子が良いこと」が最も多く27.5%、次いで「心身ともに健やかなこと」が22.7%、「病気でないこと」が12.5%である。

学年で見ると、中学生では「身体が丈夫で元気がよく調子が良いこと」と回答している割合が高く、中学生男子は38.6%、中学生女子は34.0%である。高校生では「心身ともに健やかなこと」と回答している割合が高く、高校生男子は24.6%、高校生女子は32.9%である。



(5) 健康情報の入手先・相談先 (問8)

健康に関する情報の入手先・相談先では、「テレビ、ラジオ」が 55.0%、「家族」が 54.6%、以下「学校」が 42.5%、「知人、友人、先輩」が 33.2%、「新聞、雑誌、書籍」が 28.4%となっている。

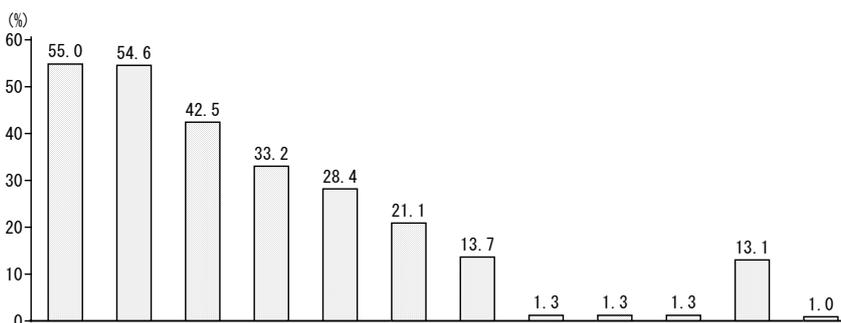
「市政だより、市のホームページ」や「市役所、健康センター、保健所の窓口」などの公的機関の情報を利用しているのは約 1%程度にとどまっている。

情報の入手先・相談先が「特にない」と回答している人は 13.1%である。

学年・性別でみると、中学生・高校生ともに男子よりも女子のほうが回答している割合が高いが、「インターネット」は高校生男子の割合が高く、26.1%となっている。

問8 健康情報の入手先・相談先 (複数回答)

□ TOTAL n=313



中・高×性別	n	1	6	5	7	2	8	9	3	4	10	11	12
		テレビ、ラジオ	家族	学校	知人、友人、先輩	新聞、雑誌、書籍	病院、診療所、薬局	インターネット	市政だより、市のホームページ	市役所、健康センター、保健所の窓口	その他	特にない	無回答
0 TOTAL	313	55.0	54.6	42.5	33.2	28.4	21.1	13.7	1.3	1.3	1.3	13.1	1.0
1 中学生男子	70	47.1	45.7	41.4	18.6	21.4	21.4	8.6	2.9	2.9	0.0	22.9	1.4
2 中学生女子	94	54.3	61.7	51.1	33.0	33.0	20.2	8.5	0.0	1.1	1.1	8.5	0.0
3 高校生男子	69	55.1	49.3	36.2	37.7	24.6	18.8	26.1	1.4	1.4	2.9	15.9	0.0
4 高校生女子	76	64.5	59.2	40.8	43.4	32.9	22.4	13.2	1.3	0.0	1.3	7.9	2.6

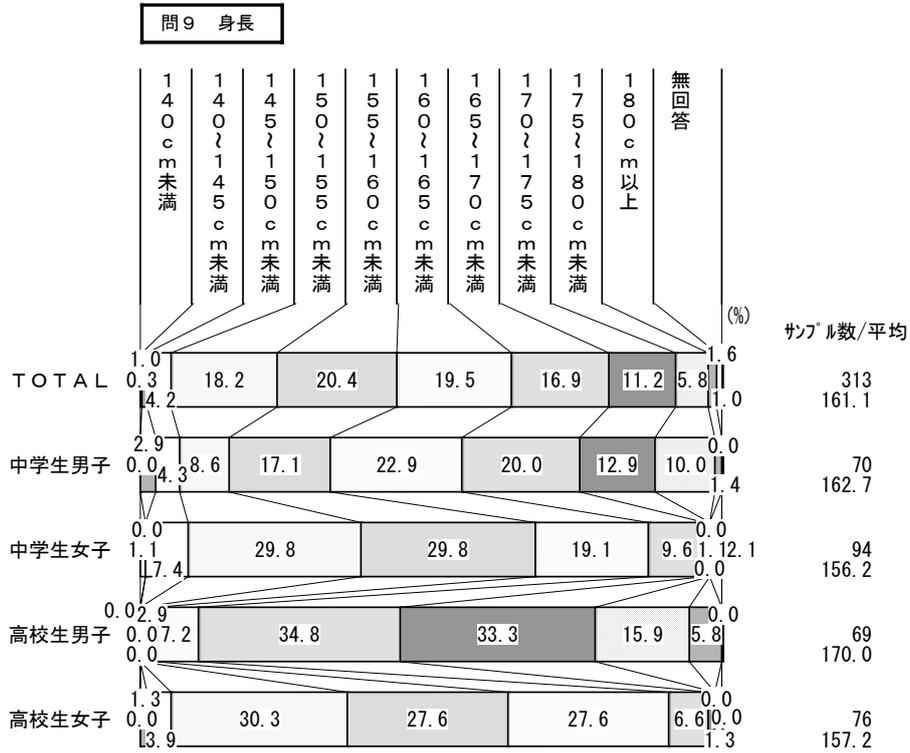
(6) 身長 (問9)

中学生男子では「160～165cm未満」が22.9%、「165～170cm未満」が20.0%、「155～160cm未満」が17.1%で、150～170cm未満が約7割、平均162.7cmである。

中学生女子では、「150～155cm未満」が29.8%、「155～160cm未満」が29.8%で、150～160cm未満が約6割、平均156.2cmである。

高校生男子では、「165～170cm未満」が34.8%、「170～175cm未満」が33.3%で、160～175cm未満が7割強、平均170.0cmである。

高校生女子では「150～155cm未満」が30.3%、「155～160cm未満」が27.6%、「160～165cm未満」が27.6%で、150～165cm未満が8割強、平均157.2cmである。



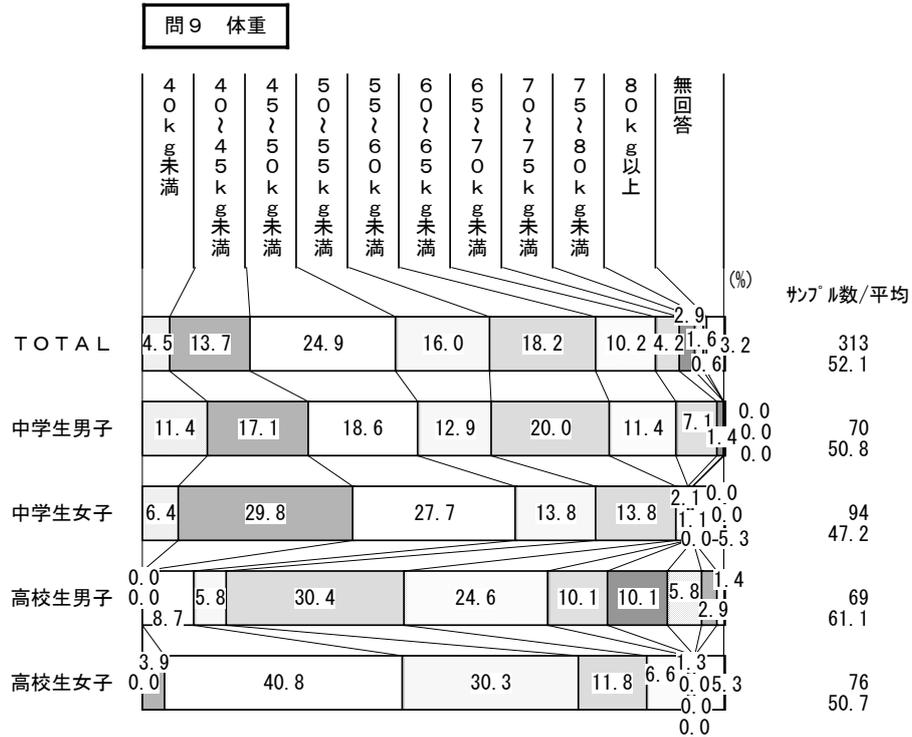
(7) 体重 (問9)

中学生男子では「55～60kg 未満」が 20.0%、「45～50kg 未満」が 18.6%、「40～45kg 未満」が 17.1%で、平均 50.8kg である。

中学生女子では、「40～45kg 未満」が 29.8%、「45～50kg 未満」が 27.7%で、平均 47.2kg である。

高校生男子では、「55～60kg 未満」が 30.4%、「60～65kg 未満」が 24.6%で、平均 61.1kg である。

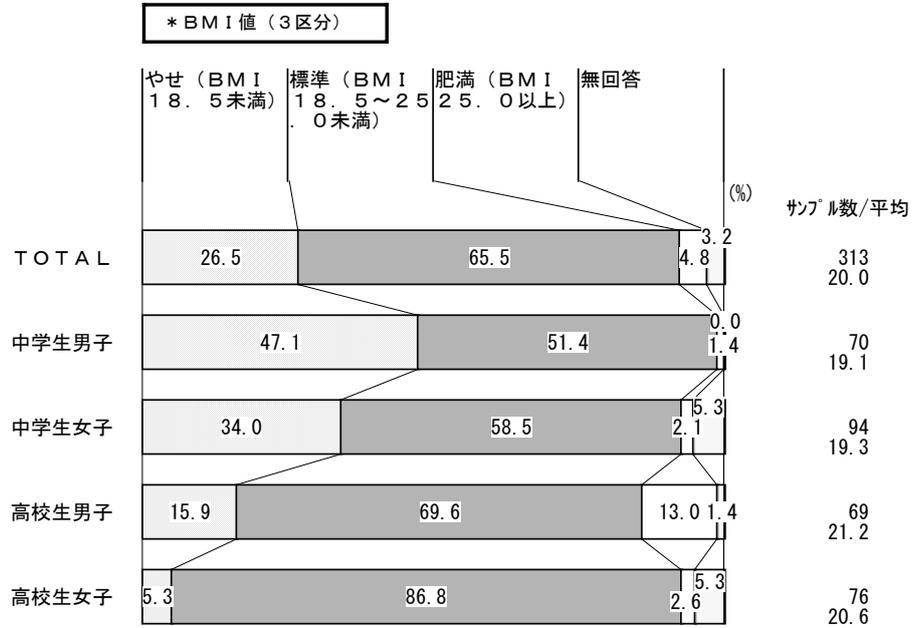
高校生女子では、「45～50kg 未満」が 40.8%、「50～55kg 未満」が 30.3%で、「45～50kg 未満」が約 7 割、平均 50.7kg である。



(8) BMI

記入された身長と体重からBMIを算出した。全体では「標準 (BMI 18.5~25.0 未満)」が 65.5%を占めている。「やせ (BMI 18.5 未満)」は 26.5%、「肥満 (BMI 25.0 以上)」は 4.8%である。

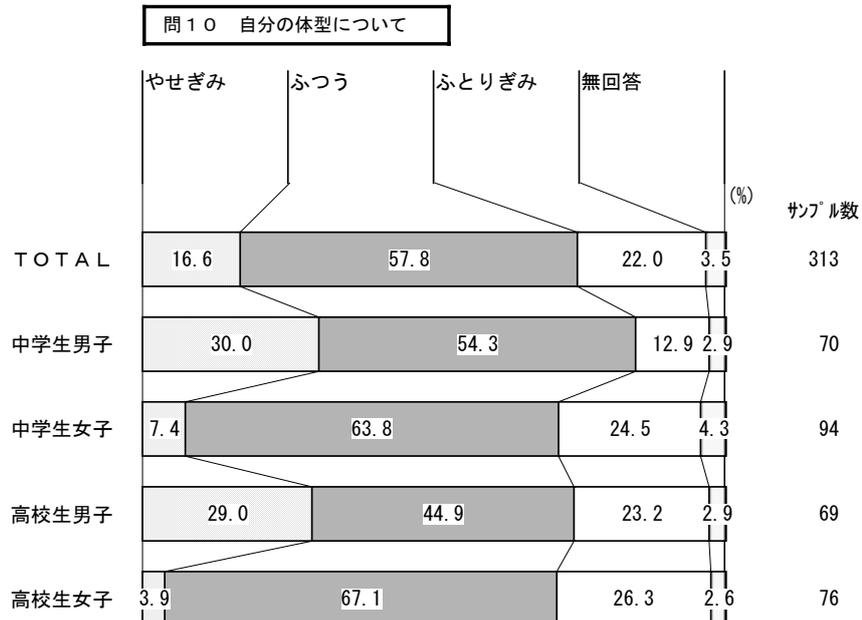
学年・性別でみると、中学生で「やせ (BMI 18.5 未満)」の割合が高く、中学生男子では 47.1%、中学生女子では 34.0%である。高校生男子では「肥満 (BMI 25.0 以上)」が 13.0%と他に比べ肥満の割合が高い。



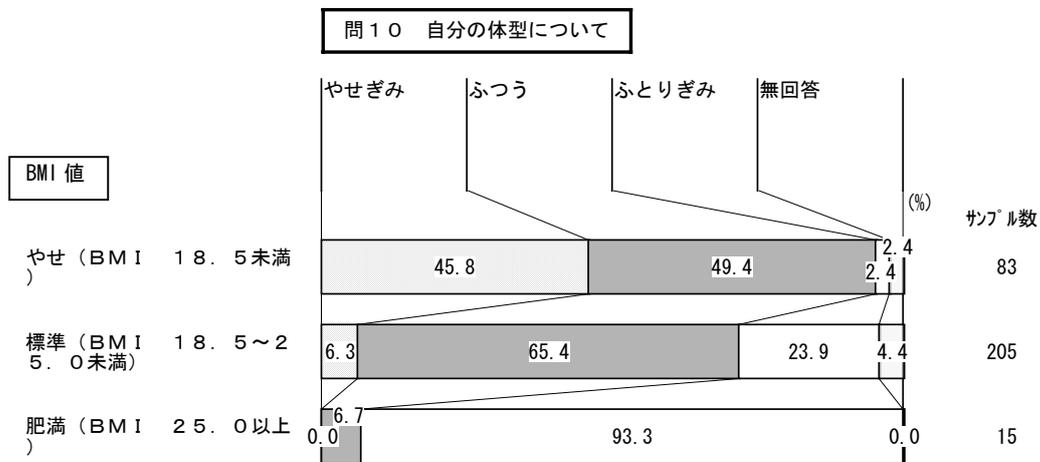
(9) 自分の体型についての認識 (問10)

自分の体型について、「ふつう」と回答している人が 57.8%で最も多い。「やせぎみ」は 16.6%、「ふとりぎみ」は 22.0%である。

学年・性別でみると、中学生、高校生ともに男子のほうが「やせぎみ」と回答した割合が高く、中学生男子が 30.0%、高校生男子が 29.0%である。



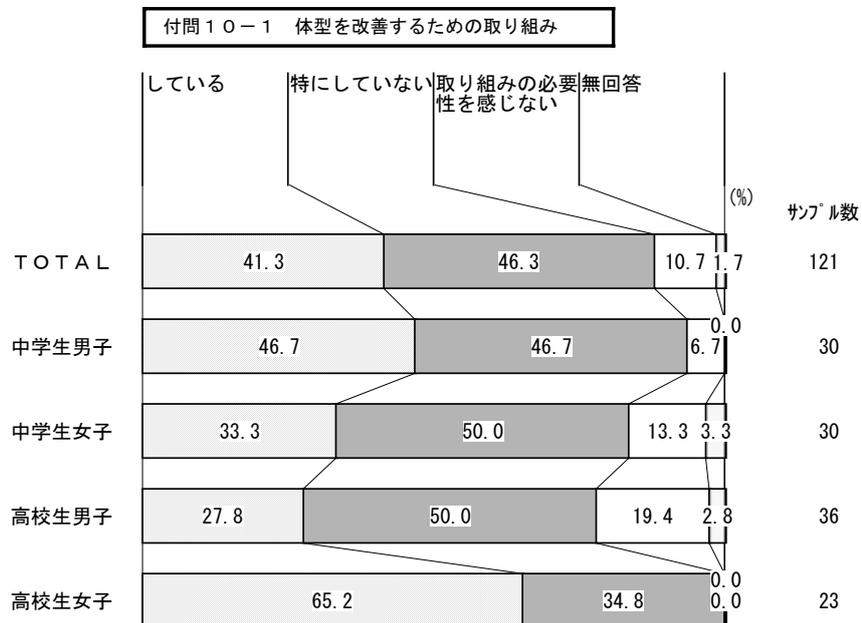
自分の体型についての認識とBMI値を比べると、「やせ (BMI 18.5 未満)」のうち49.4%は自分の体型を「ふつう」と回答し、「標準 (BMI 18.5～25.0 未満)」のうち23.9%は「ふとりぎみ」と回答している。



(10) 体型改善のための取り組み (付問10-1)

問10で、「やせぎみ」「ふとりぎみ」と回答した人に、体型を改善するための取り組みをしているかたずねたところ、「している」が41.3%、「特にしていない」が46.3%、「取り組みの必要性を感じない」が10.7%であった。

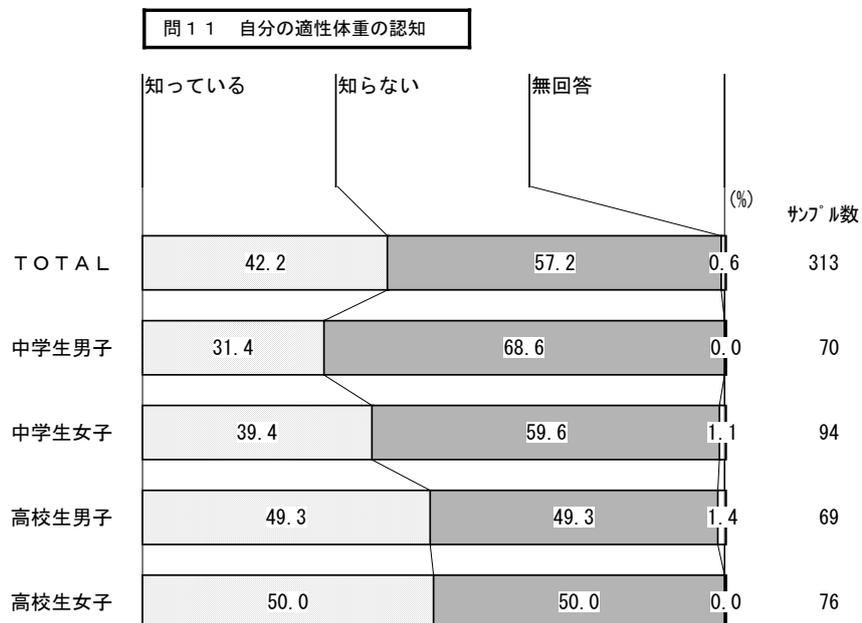
学年・性別でみると、高校生女子で「している」人の割合が高く、65.2%である。



(11) 自分の適性体重の認知 (問 11)

自分の適性体重を「知っている」が 42.2%、「知らない」が 57.2%で、「知らない」人の割合が高い。

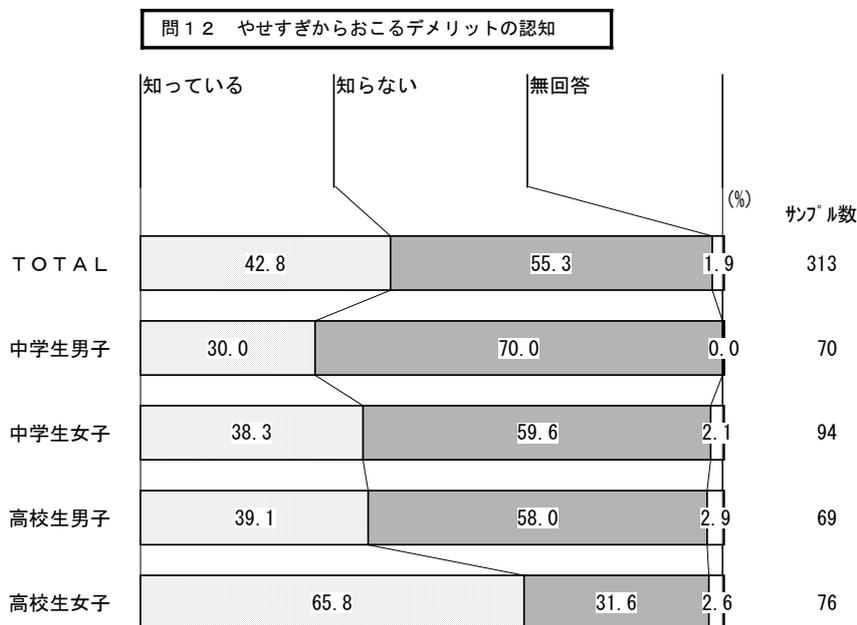
学年・性別でみると、中学生で半数以上が「知らない」と回答しており、中学生男子では 68.6%、中学生女子では 59.6%である。



(12) やせすぎからおこるデメリットの認知 (問 12)

やせすぎからおこるデメリットについて、「知っている」が 42.8%、「知らない」が 55.3%である。

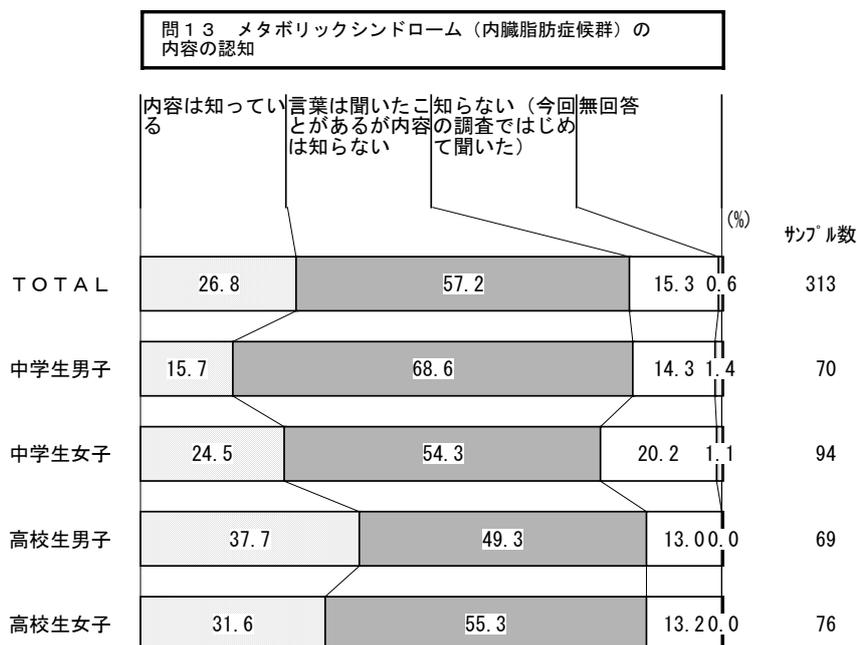
学年・性別でみると、中学生では半数以上が「知らない」と回答している。高校生では、男子で「知らない」と回答している人が 58.0%に対し、女子では 31.6%で、高校生女子の体型に対する関心の高さがうかがえる。



(13) メタボリックシンドローム (内臓脂肪症候群) の内容の認知 (問 13)

「メタボリックシンドローム」という言葉について、「言葉は聞いたことがあるが内容は知らない」が最も多く 57.2%、「内容は知っている」は 26.8%、「知らない (今回の調査ではじめて聞いた)」は 15.3%である。

学年別でみると、中学生よりも高校生で認知度が高く、高校生では 3 割以上が「内容は知っている」と回答している。

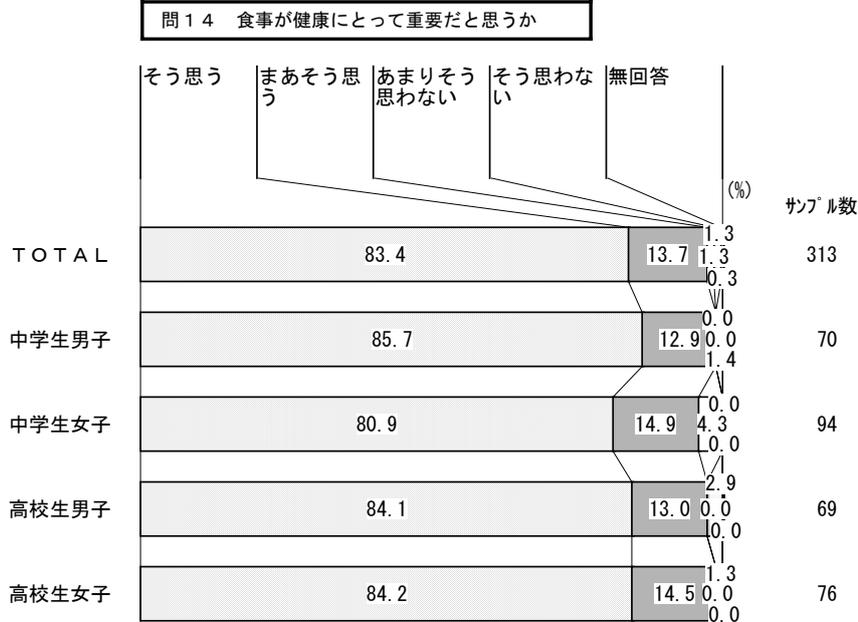


3 食生活・栄養について

(1) 食事の重要性の認識 (問 14)

食事が健康にとって重要だと思うかについて、「そう思う」が 83.4%、「まあそう思う」が 13.7%、「あまりそう思わない」が 1.3%、「そう思わない」が 1.3%で、「そう思う」「まあそう思う」合わせて 9 割以上が食事の重要性を認識している。

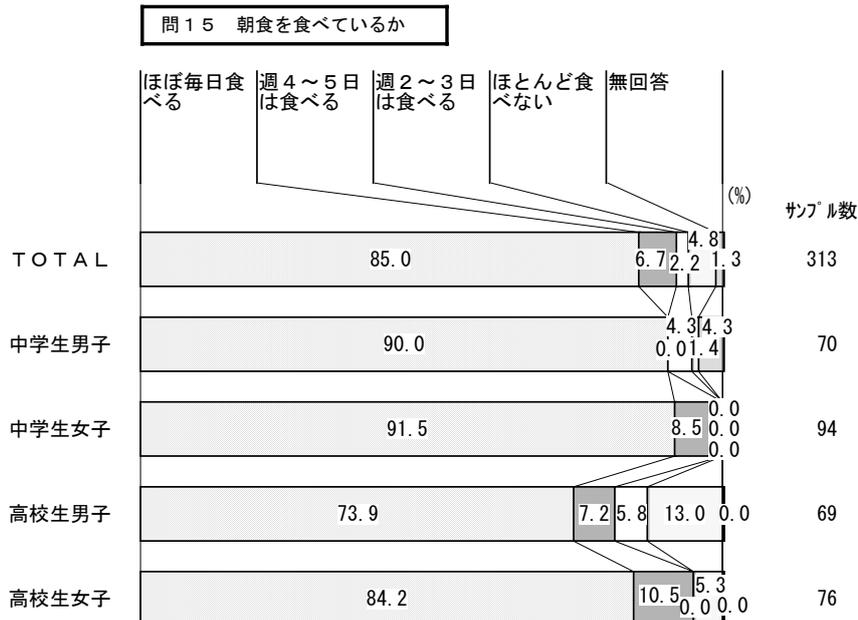
学年・性別では、大きな差はみられない。



(2) 朝食を食べているか (問 15)

朝食を「ほぼ毎日食べる」は 85.0%、「週 4～5 日は食べる」は 6.7%、「週 2～3 は食べる」が 2.2%、「ほとんど食べない」は 4.8%である。

学年・性別でみると、高校生男子で約 3 割が朝食を食べない日があり、その中でも「ほとんど食べない」が 13.0%となっている。

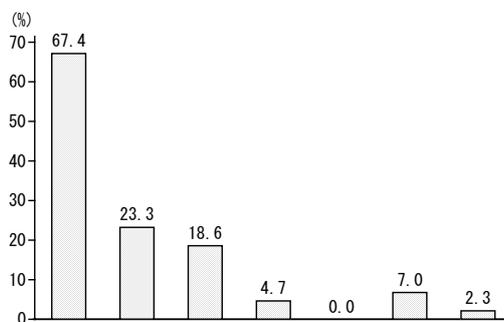


(3) 朝食を食べない理由 (付問 15-1)

問 15 で、「ほぼ毎日食べる」以外と回答した人に、朝食を食べない理由をたずねたところ、「朝は時間がないから」が最も高く 67.4%、次いで「食欲がないから」(23.3%)、「いつも食べないから」(18.6%) となっている。

付問 15-1 朝食を食べない理由 (複数回答)

□ TOTAL n=43



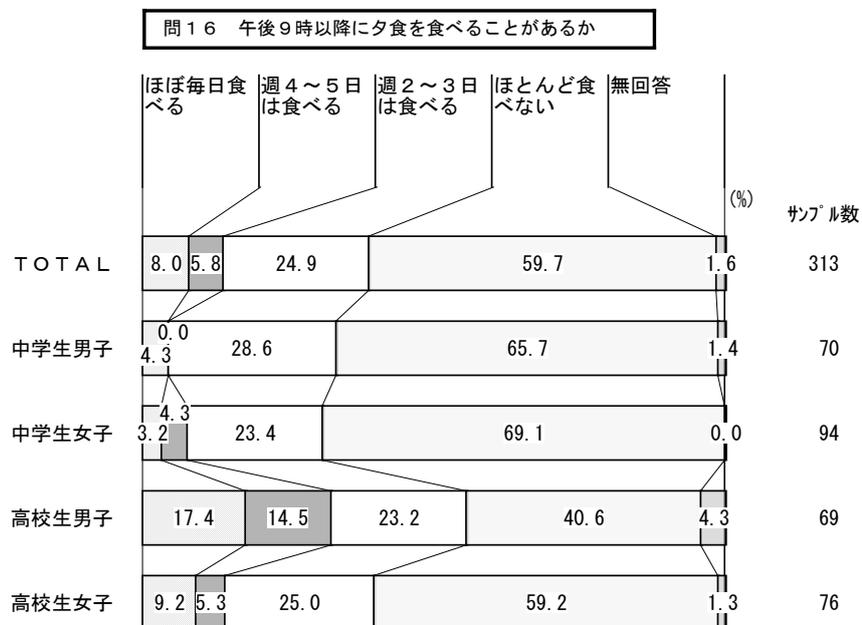
中・高×性別		n	3 朝は時間がないから	1 食欲がないから	4 いつも食べないから	5 朝食が用意されていないから	2 太りたくないから	6 その他	7 無回答
0	TOTAL	43	67.4	23.3	18.6	4.7	0.0	7.0	2.3
1	中学生男子	4	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
2	中学生女子	8	50.0	12.5	0.0	0.0	0.0	37.5	0.0
3	高校生男子	18	72.2	33.3	27.8	5.6	0.0	0.0	0.0
4	高校生女子	12	83.3	16.7	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0

※ 学年・性別の数値は、回答数が少ないため参考値。

(4) 午後9時以降に夕食を食べるか (問16)

午後9時以降に夕食を食べる頻度について、「ほぼ毎日食べる」は8.0%、「週4～5日は食べる」が5.8%、「週2～3日は食べる」は24.9%、「ほとんど食べない」は59.7%となっている。約4割が週に何度か9時以降に夕食をとっている。

学年・性別でみると、高校生男子の5割強、高校生女子の4割が9時以降に夕食を食べる機会がある。

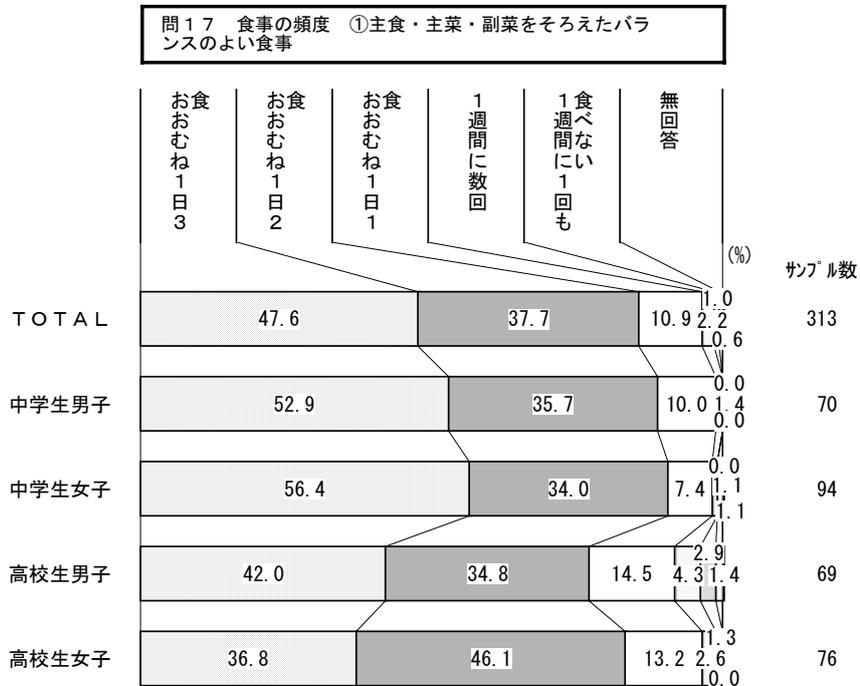


(5) 食事の頻度 (問 17①)

①主食・主菜・副菜をそろえたバランスのよい食事

主食・主菜・副菜をそろえたバランスのよい食事が「おおむね1日3食」が最も多く47.6%、「おおむね1日2食」が37.7%、「おおむね1日1食」が10.9%である。

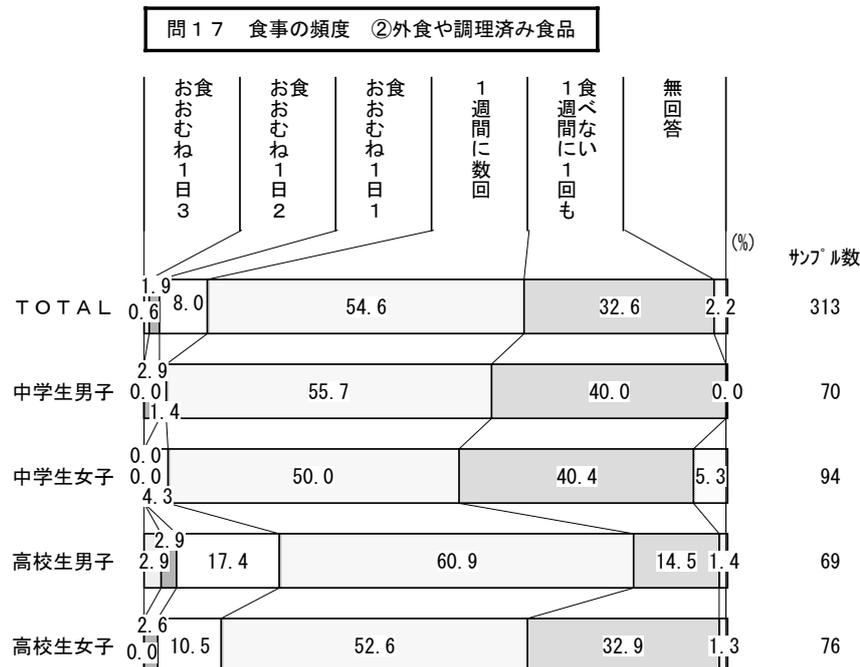
学年・性別でみると、中学生で半数以上が「おおむね1日3食」であるのに対し、高校生では男子は約10ポイント、女子は約20ポイント下回っている。



②外食や調理済み食品

外食や調理済み食品を利用する頻度について、「1週間に数回」が54.6%で最も多く、次いで「1週間に1回も食べない」(32.6%)、「お食おむね1日1食」(8.0%)となっている。

学年・性別でみると、高校生男子で利用する頻度が高く、一週間に数回以上利用している人が8割強となっている。

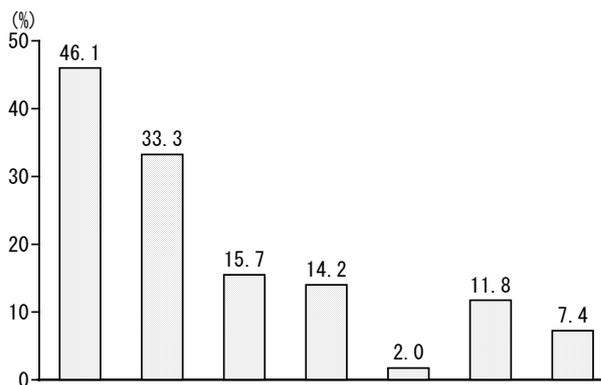


(6) 調理済み食品を利用する理由 (問 17②-1)

問 17②で、調理済み食品を1週間に数回以上利用している人に、調理済み食品を利用する理由をたずねたところ、「手軽なので」が最も多く46.1%、次いで「忙しい、あるいは時間がないので」が33.3%、「自分で食事を準備していない」が15.7%、「おいしいので」が14.2%である。

学年別で見ると、中学生で「手軽なので」と回答した割合が男女とも5割以上である。

付問 17②-1 調理済み食品を利用する理由 (複数回答)
 □ TOTAL n=204

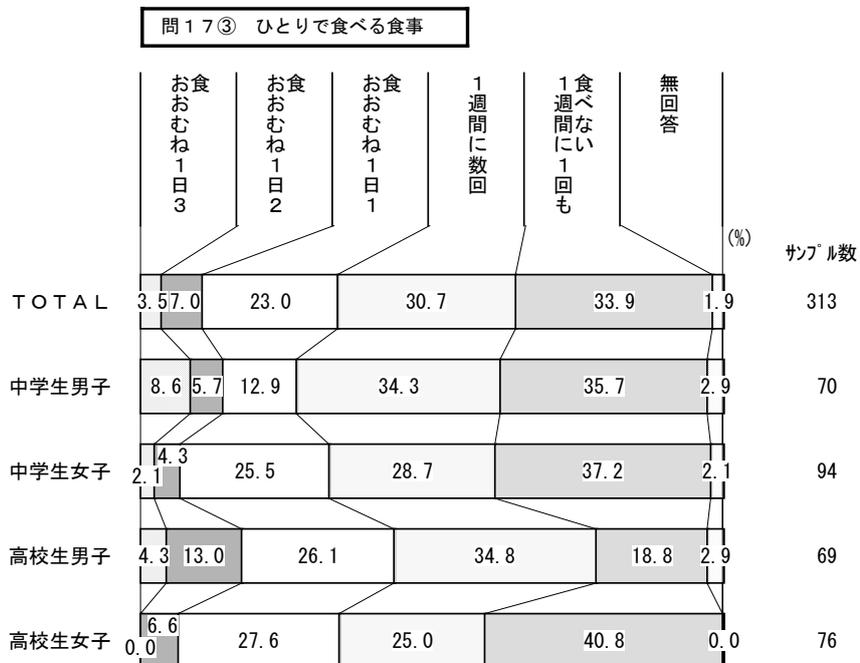


中・高×性別	n	3	1	5	2	4	6	7
		手軽なので	忙しい、あるいは時間がない	自分で食事を準備していない	おいしいので	経済的なので	その他	無回答
0 TOTAL	204	46.1	33.3	15.7	14.2	2.0	11.8	7.4
1 中学生男子	42	54.8	31.0	16.7	9.5	0.0	11.9	7.1
2 中学生女子	51	51.0	35.3	7.8	29.4	0.0	9.8	7.8
3 高校生男子	58	39.7	32.8	24.1	6.9	3.4	10.3	6.9
4 高校生女子	50	40.0	36.0	14.0	8.0	4.0	16.0	8.0

(7) ひとりで食べる食事の頻度 (問 17③)

ひとりで食べる食事について、「1週間に1回も食べない」が33.9%で最も多く、次いで「1週間に数回」(30.7%)、「おおむね1日1食」(23.0%)、「おおむね1日2食」(7.0%)、「おおむね1日3食」(3.5%)となっている。約3割が1日1食はひとりで食事をとっている状況がうかがえる。

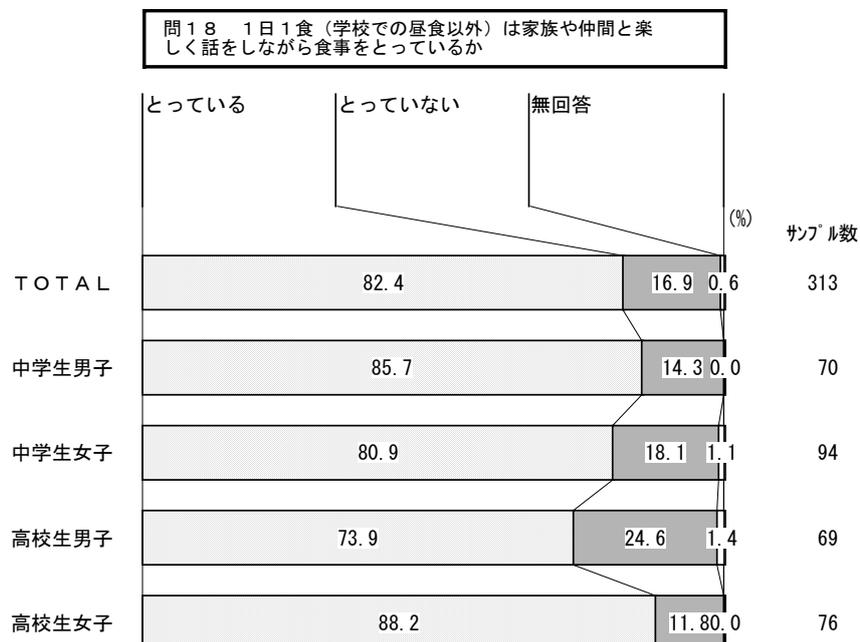
学年・性別でみると、高校生男子で、1日1食以上ひとりで食べると回答した人が4割以上である。



(8) 1日1食 (学校での給食以外) は家族や仲間と楽しく話をしながら食事をとっているか (問 18)

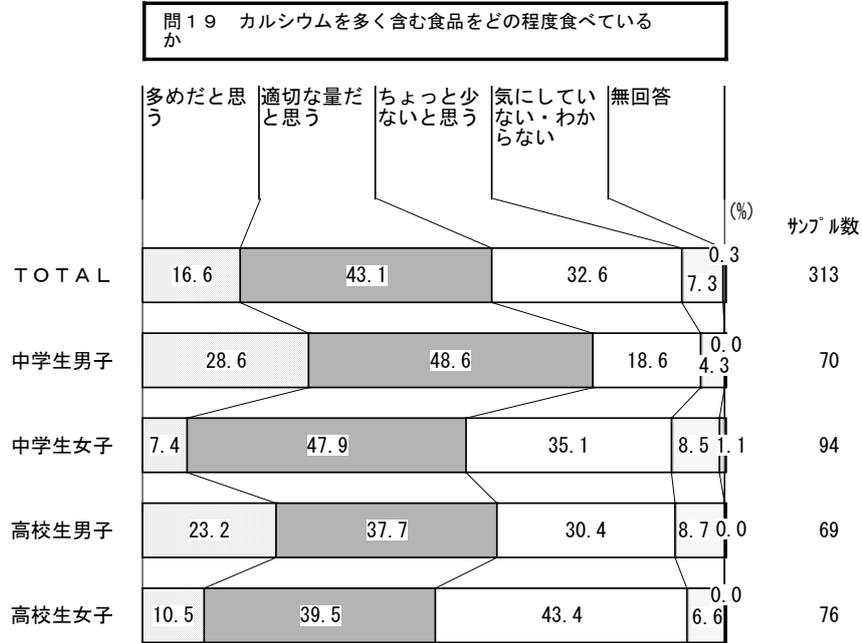
「とっている」が82.4%、「とっていない」が16.9%である。8割以上が1日1食は楽しく食事をとれている。

学年・性別でみると、高校生男子で「とっていない」が24.6%で、他に比べて楽しく食事を取れていない割合が高い。



(9) カルシウムの摂取状況 (問 19)

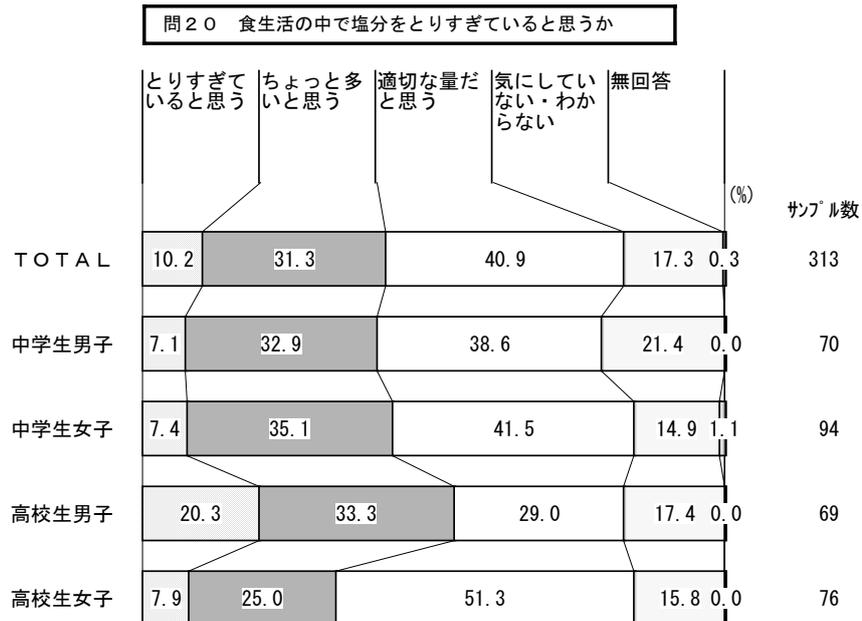
「適切な量だと思う」が 43.1%で最も高く、次いで「ちょっと少ないと思う」(32.6%)、「多めだと思う」(16.6%)、「気にしていない・わからない」(7.3%)となっている。
 学年・性別でみると、中学生女子・高校生女子で「ちょっと少ないと思う」と回答している割合が高い。



(10) 塩分の摂取状況 (問 20)

塩分の摂取については「とりすぎていると思う」「ちょっと多いと思う」合わせて 41.5%で、4割以上が塩分をとりすぎていると感じている。

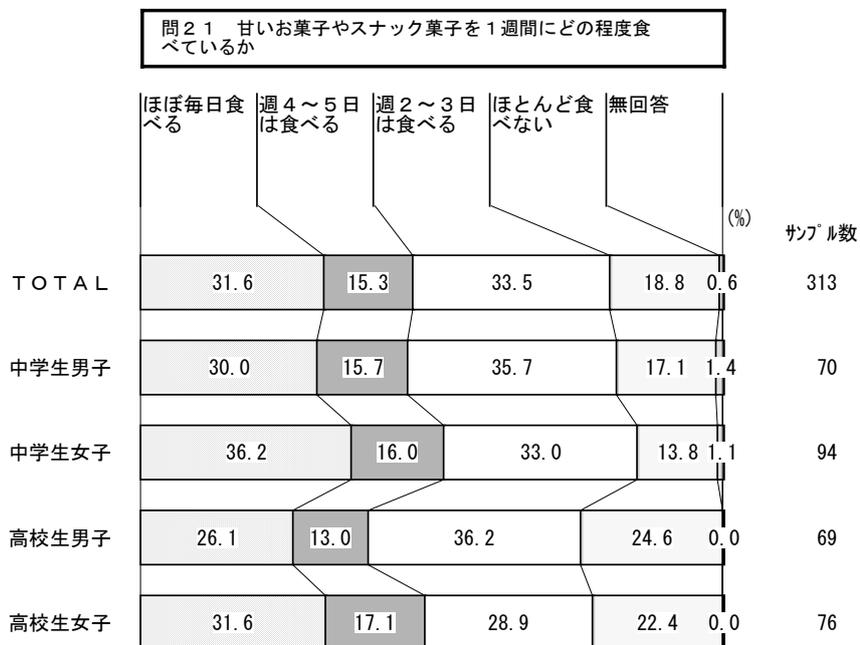
学年・性別でみると、高校生男子で「とりすぎていると思う」「ちょっと多いと思う」合わせて 53.6%と他に比べて高い。



(11) 菓子・スナック菓子を食べる頻度（問 21）

「ほぼ毎日食べる」「週4～5日は食べる」合わせて46.9%で、4割以上が週の半分以上、甘いお菓子やスナック菓子を食べている。「ほとんど食べない」は18.8%で2割以下である。

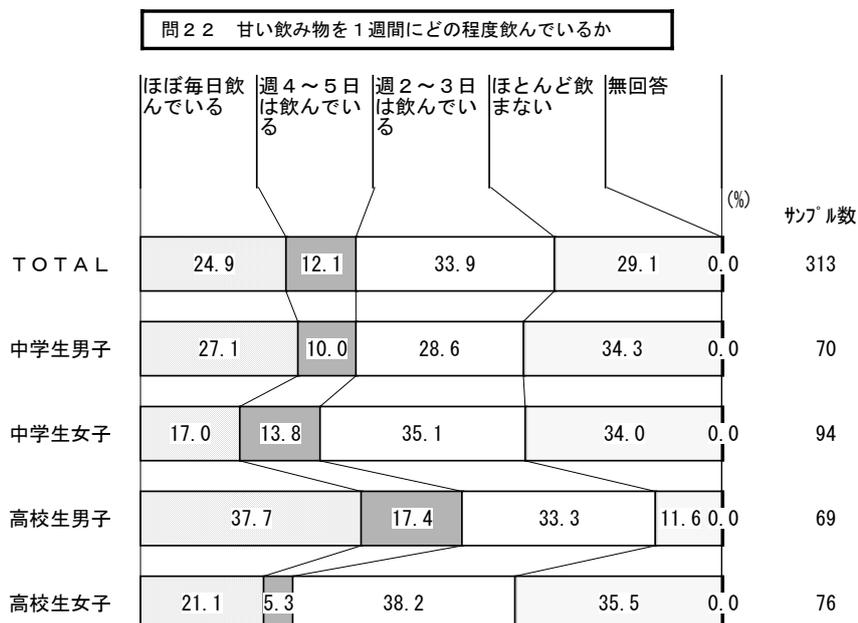
学年・性別でみると、中学生、高校生ともに女子のほうが食べている頻度が高く、中学生女子では5割以上が「ほぼ毎日食べる」「週4～5日は食べる」と回答している。



(12) 甘い飲み物を飲む頻度（問 22）

「ほぼ毎日飲んでいる」「週4～5日は飲んでいる」合わせて37.0%で、4割近くが週の半分以上、甘い飲み物を飲んでいる。「ほとんど飲まない」は29.1%で約3割である。

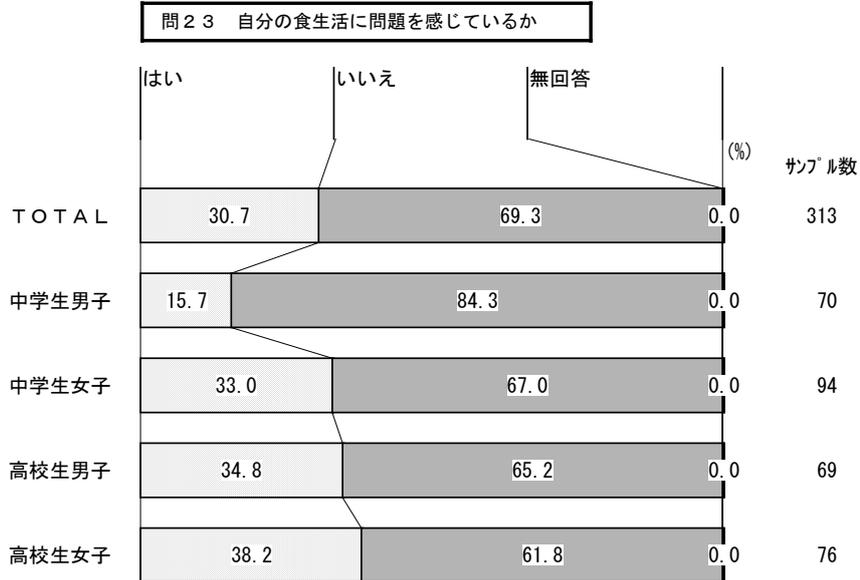
学年・性別でみると、中学生、高校生ともに男子のほうが飲んでいる頻度が高く、高校生男子では「ほぼ毎日飲んでいる」が37.7%である。



(13) 食生活についての問題意識 (問 23)

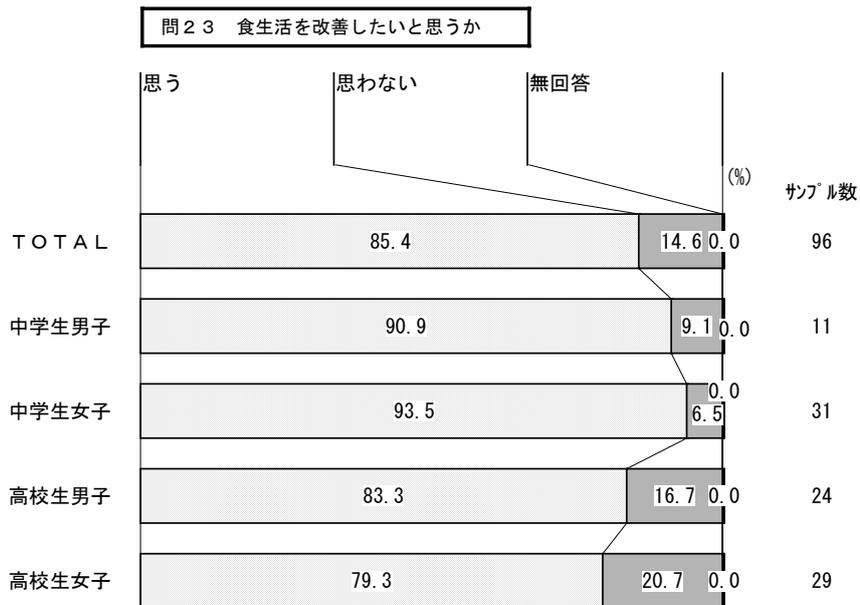
自分の食生活に問題を感じているかについて、「はい」が 30.7%、「いいえ」が 69.3%で、約 7 割が食生活に問題を感じていない。

学年・性別でみると、中学生男子は 8 割以上が「いいえ」で食生活に問題を感じていない割合が高い。



(14) 食生活改善についての意向 (付問 23-1)

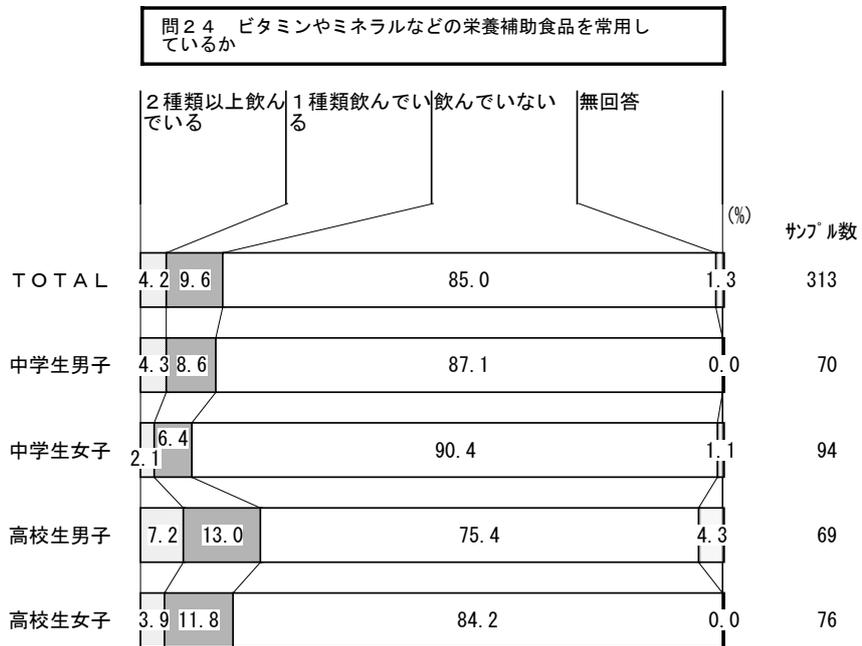
問 23 で「はい」と回答した人に、食生活を改善したいと思うかたずねたところ、「思う」が 85.4%、「思わない」が 14.6%で、改善したいという意向を持つ人が 8 割以上である。



(15) 栄養補助食品の利用状況（問 24）

栄養補助食品について、「飲んでいない」が 85.0%である。

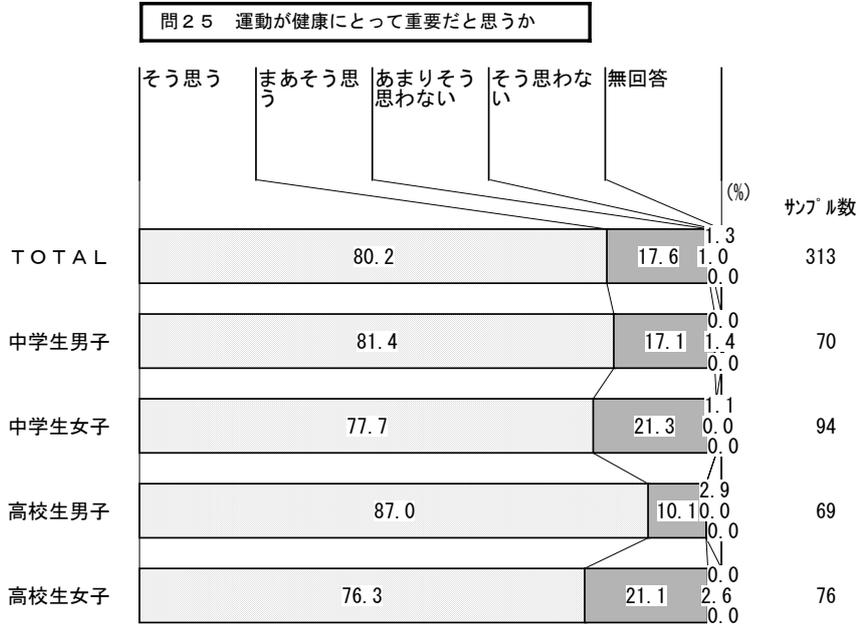
学年・性別でみると、高校生男子では「1種類飲んでいる」「2種類以上飲んでいる」合わせて約2割が栄養補助食品を常用している。



4 身体活動・運動について

(1) 運動が健康にとって重要だと思うか (問 25)

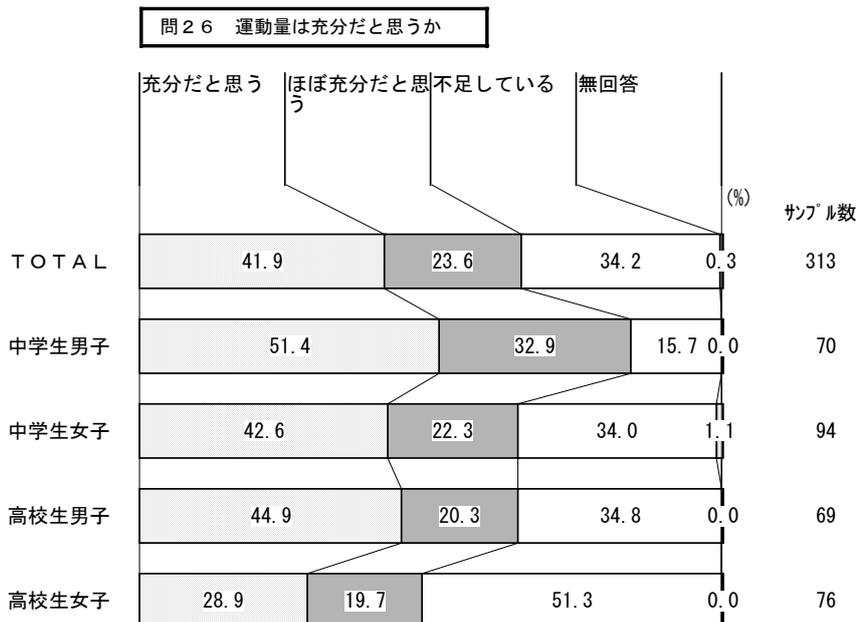
運動が健康にとって重要かについて、「そう思う」が80.2%、「まあそう思う」が17.6%、「あまりそう思わない」が1.0%、「そう思わない」が1.3%である。
 学年・性別でみると、男子高校生で「そう思う」の割合が高く、87.0%である。



(2) 運動量についての認識 (問 26)

運動量について、「充分だと思う」は41.9%、「ほぼ充分だと思う」は23.6%、「不足している」は34.2%である。

学年・性別でみると、高校生女子の51.3%が「不足している」と回答している。中学生、高校生ともに男子よりも女子のほうが運動不足だと感じており、中学生に比べて高校生で「不足している」と回答している割合が高い。



(3) もっと「運動をしたい」と思うか (問27)

もっと運動をしたいかについては、「運動をしたいと思う」が 41.2%、「まあ運動をしたいと思う」が 39.3%で、約8割が運動をしたいという意向を持っている。

問27 もっと「運動をしたい」と思うか						サンプル数	
		運動をした いと思う	まあ運動を したいと思 う	あまり運動 をしたいと 思わない	運動をした いと思わな い		無回答
TOTAL		41.2	39.3	11.8	7.3	0.3	313
中学生男子		41.4	40.0	12.9	5.7	0.0	70
中学生女子		39.4	41.5	14.9	3.2	1.1	94
高校生男子		37.7	39.1	8.7	14.5	0.0	69
高校生女子		46.1	36.8	10.5	6.6	0.0	76

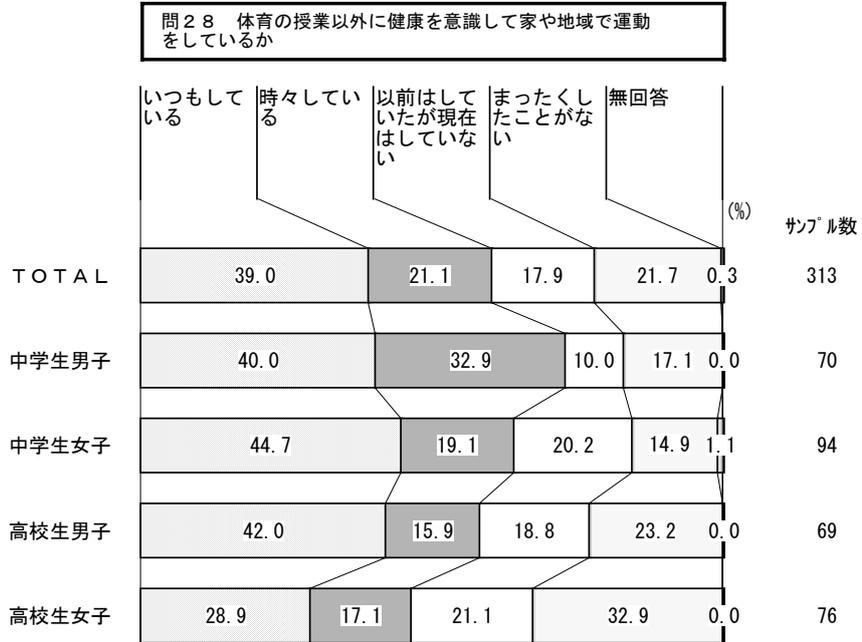
「運動をしたい」と思う意向を、「運動が健康にとって重要だと思うか」の意識別で見ると、「そう思う」では「運動をしたいと思う」「まあ運動をしたいと思う」が合わせて8割以上であるのに対し、「まあそう思う」では約6割である。「あまりそう思わない」「そう思わない」では運動をしたいは0.0%である。

問25 運動が健康にとって重要だと思うか		1	2	3	4	5	
n		運動をした いと思う	まあ運動を したいと思 う	あまり運動 をしたいと 思わない	運動をした いと思わな い	無回 答	
0	TOTAL	313	41.2	39.3	11.8	7.3	0.3
1	そう思う	251	49.0	36.7	9.6	4.8	0.0
2	まあそう思う	55	10.9	50.9	23.6	12.7	1.8
3	あまりそう思わない	3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
4	そう思わない	4	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

(4) 体育の授業以外の運動状況 (問 28)

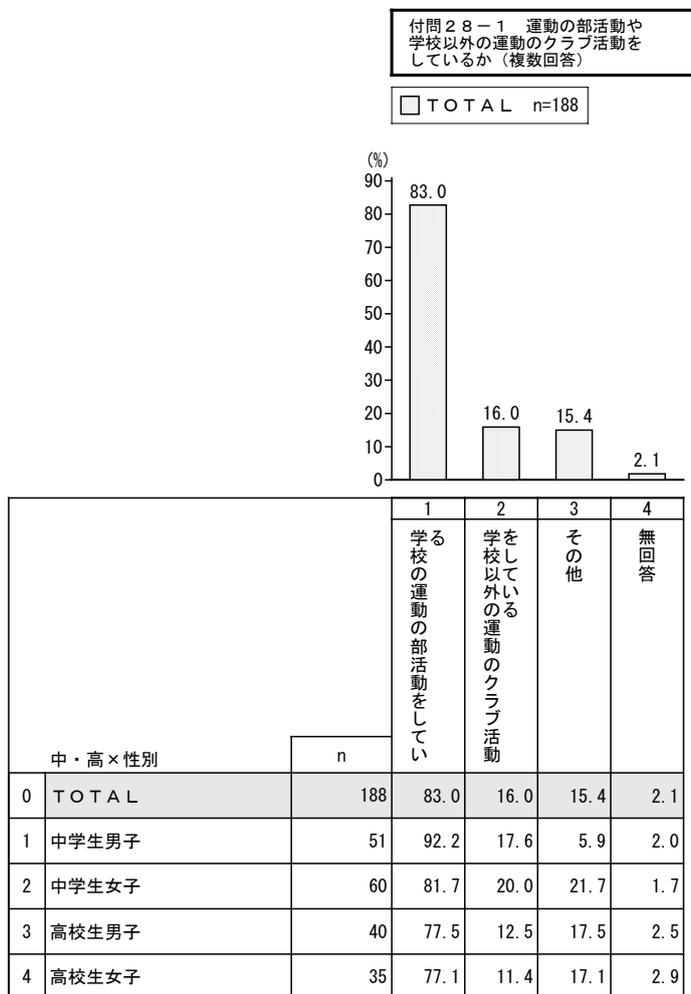
体育の授業以外の運動について、「いつもしている」が 39.0%、「時々している」が 21.1%で約 5 割が授業以外で運動をしている。

学年・性別でみると、中学生よりも高校生のほうが「以前はしていたが現在はしていない」「まったくしたことがない」人が多く、高校生男子で約 4 割、高校生女子で約 5 割が授業以外では運動をしていない。



(5) 部活動や学校以外の運動のクラブ活動状況 (付問 28-1)

問 28 で、運動を「いつもしている」「時々している」と回答した人に、部活動や学校以外の運動のクラブ活動の状況をたずねたところ、「学校の運動の部活動をしている」と回答した人が 83.0%、「学校以外の運動のクラブ活動をしている」は 16.0%、「その他」は 15.4%である。



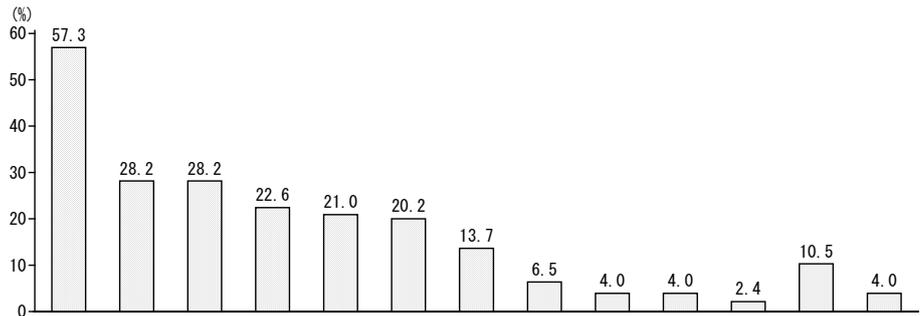
(6) 日頃、運動・スポーツができていない理由 (付問 28-2)

問 28 で、運動を「以前はしていたが現在はしていない」「まったくしたことがない」と回答した人に、日頃、運動・スポーツができていない理由をたずねたところ、「時間がない」が 57.3%で最も多く、以下、「運動は好きではない」(28.2%)、「きっかけがない」(28.2%)、「何をしたらよいかわからない」(22.6%)、「一緒に運動をする仲間がない」(21.0%)、「関心がない」(20.2%)となっている。

学年、性別で見ると、中学生男子で「関心がない」が 36.8%、中学生女子で「運動が好きではない」が 42.4%と他に比べて高くなっている。

付問 28-2 日頃、運動・スポーツができていない理由 (複数回答)

□ TOTAL n=124

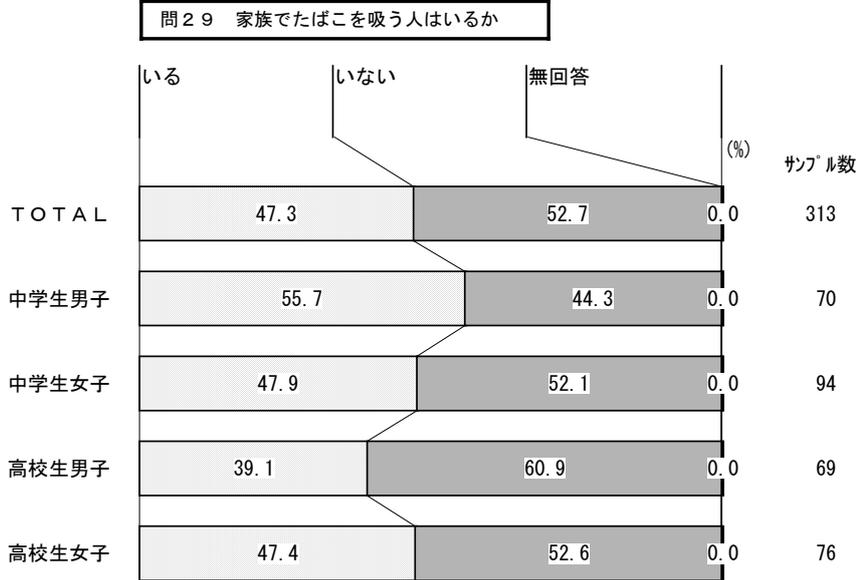


中・高×性別	n	1	9	10	6	7	11	5	4	3	8	2	12	13
		時間がない	運動は好きではない	きっかけがない	何をしたらよいかわからない	一緒に運動をする仲間がない	関心がない	場所がない	体調がよくない	経済的理由	初心者が参加しにくい	家族の世話があるため	その他	無回答
0 TOTAL	124	57.3	28.2	28.2	22.6	21.0	20.2	13.7	6.5	4.0	4.0	2.4	10.5	4.0
1 中学生男子	19	52.6	15.8	26.3	10.5	15.8	36.8	10.5	0.0	5.3	0.0	5.3	10.5	10.5
2 中学生女子	33	63.6	42.4	24.2	27.3	27.3	18.2	12.1	12.1	3.0	9.1	0.0	9.1	0.0
3 高校生男子	29	62.1	20.7	34.5	20.7	10.3	24.1	13.8	3.4	3.4	0.0	3.4	13.8	3.4
4 高校生女子	41	53.7	26.8	29.3	26.8	26.8	9.8	17.1	7.3	4.9	4.9	2.4	9.8	2.4

5 喫煙について

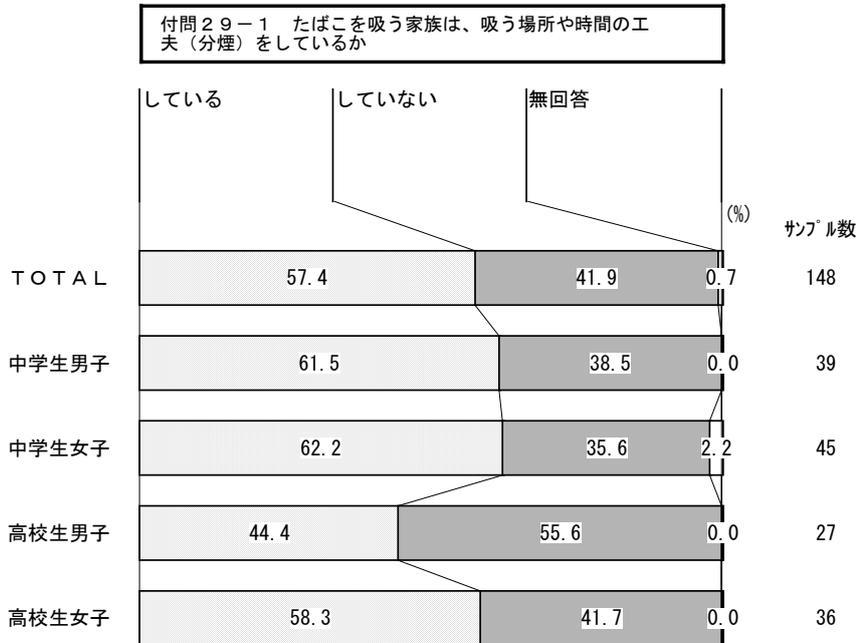
(1) 家族の喫煙状況 (問 29)

家族でたばこを吸う人が「いる」は47.3%、「いない」は52.7%で、やや「いない」人の割合が高い。



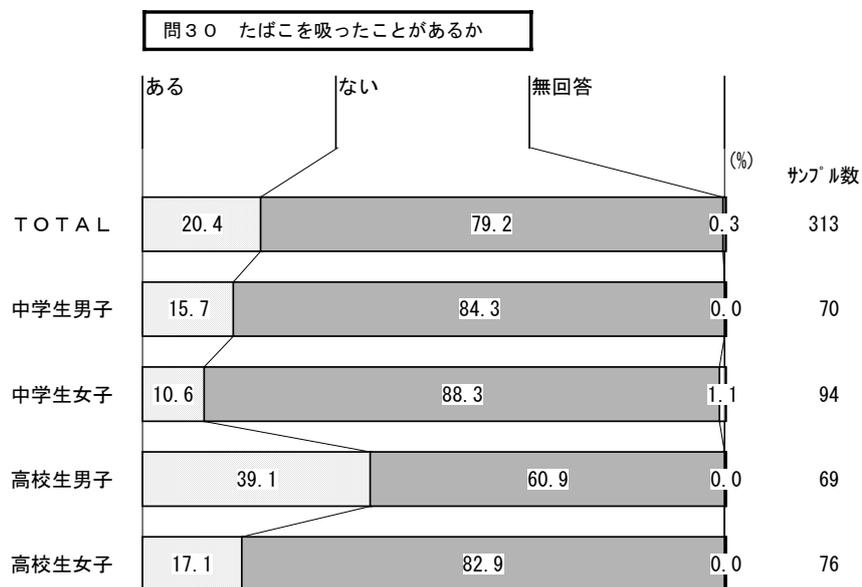
(2) 喫煙する家族は、吸う場所や時間の工夫 (分煙) をしているか (付問 29-1)

問 29 で「いる」と回答した人に、喫煙する家族が吸う場所や時間の工夫などの分煙をしているかたずねたところ、「している」が57.4%、「していない」が41.9%で、している人の割合がやや高い。

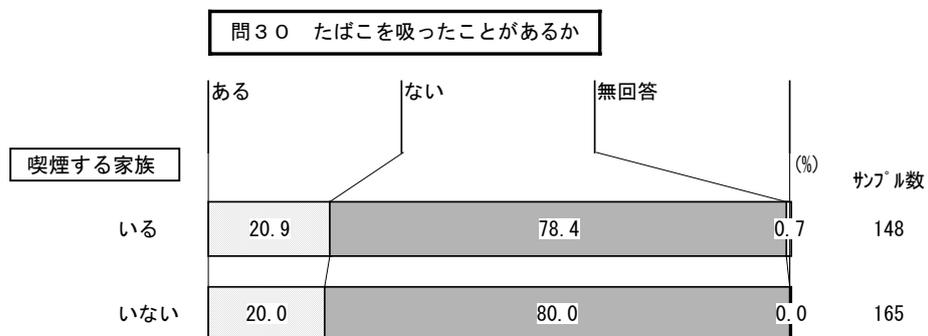


(3) 喫煙経験の有無 (問30)

喫煙の経験について、全体では「ある」が20.4%、「ない」が79.2%である。
 学年・性別でみると、高校生男子でたばこを吸ったことが「ある」と回答している割合が高く、約4割である。

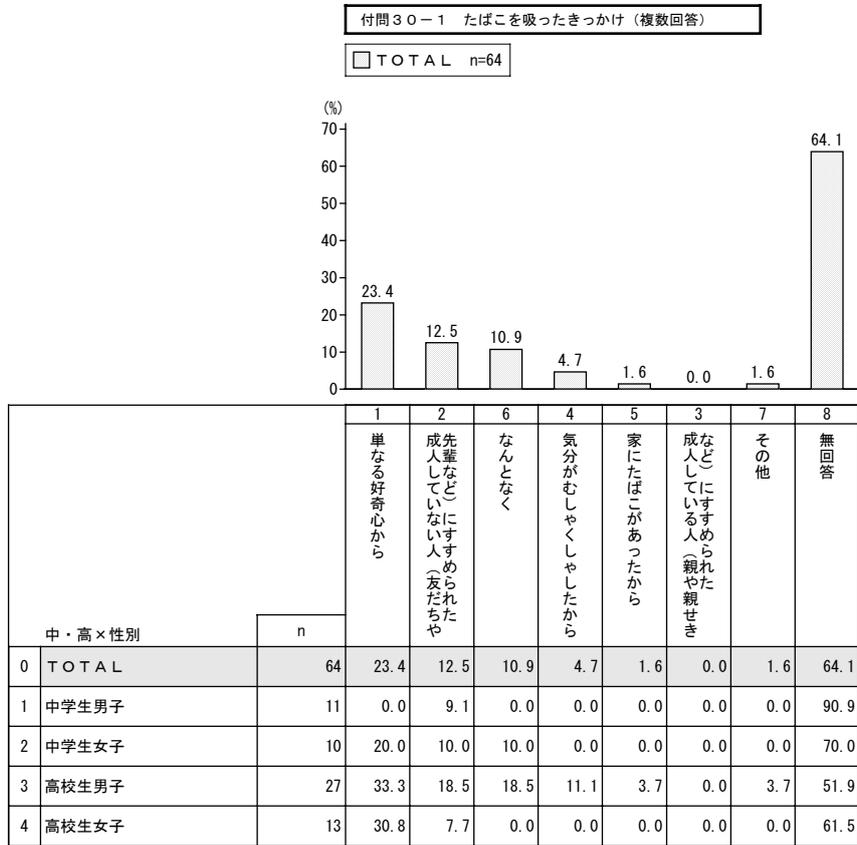


喫煙経験の有無と家族の喫煙状況をみたところ、大きな差はみられない。



(4) 喫煙したきっかけ (付問 30-1)

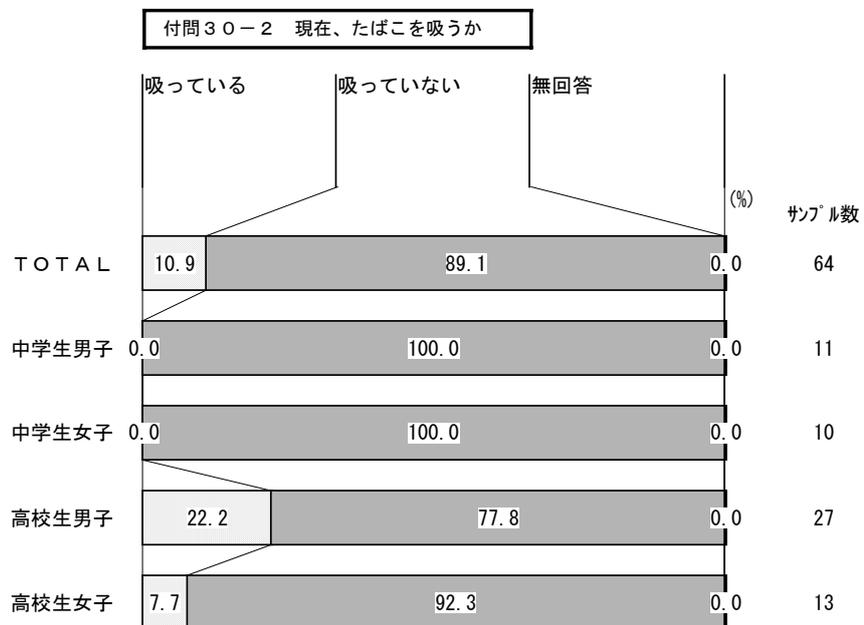
問 30 でたばこを吸ったことが「ある」と回答した人に、たばこを吸ったきっかけをたずねたところ、「単なる好奇心から」が 23.4%で最も多く、次いで「成人していない人(友だちや先輩など)にすすめられた」が 12.5%、「なんとなく」が 10.9%であるが、「無回答」が 64.1%であることを考慮する必要がある。



(5) 現在の喫煙状況 (付問 30-2)

問 30 でたばこを吸ったことが「ある」と回答した人に、現在、たばこを吸うかたずねたところ、「吸っている」は 10.9%、「吸っていない」が 89.1%で、約 1 割が継続して喫煙をしている。

学年・性別で見ると、中学生は男女とも「吸っていない」が 100%であるのに対し、男子高校生では 22.2%、女子高校生では 7.7%に喫煙習慣がみられる。



(6) 喫煙により影響が出ると思うもの (問31)

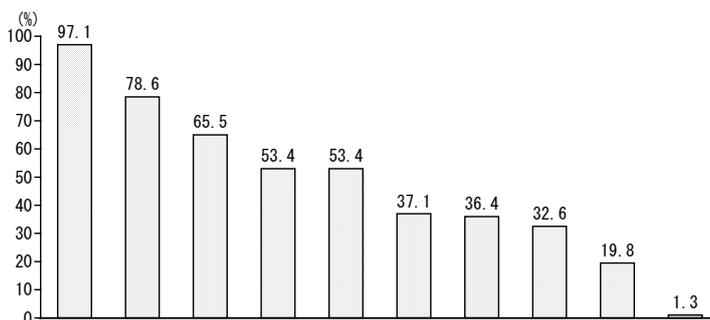
「肺がん」が97.1%で最も多く、以下「妊娠(胎児)への悪影響」(78.6%)、「乳幼児・青少年の発達への悪影響」(65.5%)、「ぜんそく」(53.4%)、「気管支炎」(53.4%)である。

学年・性別でみると、高校生女子では「妊娠(胎児)への悪影響」が98.7%と高くなっている。高校生男子では「歯周病」が52.2%、「脳卒中」が52.2%と高くなっている。

「喫煙経験の有無(問30)」との関係を見ると、喫煙による影響についての知識に大きな差はみられないが、「乳幼児・青少年の発達への悪影響」については、喫煙経験が「ある」場合は59.4%に対し、「ない」場合は66.9%である。

問31 たばこを吸うことで影響が出ると思うもの(複数回答)

□ TOTAL n=313



中・高×性別	n	1	7	8	2	3	9	4	5	6	10
		肺がん	妊娠(胎児)への悪影響	乳幼児・青少年の発達への悪影響	ぜんそく	気管支炎	歯周病	心臓病	脳卒中	胃かいよう	無回答
0 TOTAL	313	97.1	78.6	65.5	53.4	53.4	37.1	36.4	32.6	19.8	1.3
1 中学生男子	70	97.1	60.0	54.3	45.7	48.6	27.1	38.6	31.4	18.6	0.0
2 中学生女子	94	96.8	79.8	63.8	57.4	41.5	37.2	31.9	26.6	19.1	2.1
3 高校生男子	69	94.2	76.8	71.0	58.0	69.6	52.2	46.4	52.2	26.1	2.9
4 高校生女子	76	100.0	98.7	75.0	52.6	60.5	34.2	31.6	25.0	15.8	0.0
1 ある	64	95.3	73.4	59.4	54.7	53.1	37.5	40.6	37.5	21.9	1.6
2 ない	248	97.6	79.8	66.9	52.8	53.2	37.1	35.5	31.0	19.0	1.2

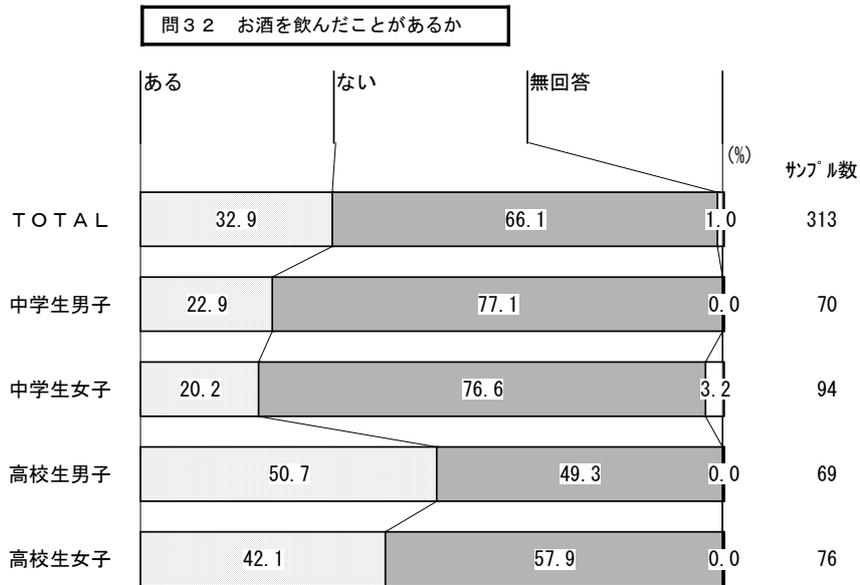
喫煙経験の有無

6 飲酒について

(1) 飲酒経験の有無 (問 32)

お酒を飲んだことが「ある」が 32.9%、「ない」が 66.1%で、約 3 割が飲酒の経験がある。

学年・性別で見ると、「ある」と回答したのは、中学生男子では 22.9%、中学生女子では 20.2%に対し、高校生では、ほぼ倍の割合である。高校生男子が 50.7%、高校生女子が 42.1%である。



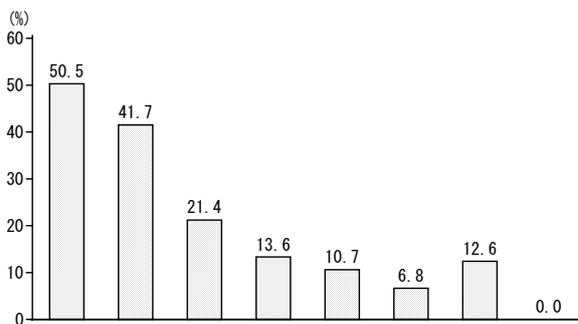
(2) 飲酒のきっかけ (付問 32-1)

「単なる好奇心から」が 50.5%で最も高く、次いで「成人している人（親や親せきなど）にすすめられた」（41.7%）、「なんとなく」（21.4%）となっている。

学年・性別でみると、中学生に比べて高校生では「成人していない人（友だちや先輩など）にすすめられた」割合が多く、高校生男子が 20.0%、高校生女子が 18.8%である。

付問 32-1 お酒を飲んだきっかけ (複数回答)

□ TOTAL n=103



中・高×性別	n	1	3	6	2	5	4	7	8
		単なる好奇心から	成人している人(親や親せきなど)にすすめられた	なんとなく	先輩など(成人していない人(友だちや先輩))にすすめられた	家にお酒があったから	気分がむしゃくしゃしていた	その他	無回答
0 TOTAL	103	50.5	41.7	21.4	13.6	10.7	6.8	12.6	0.0
1 中学生男子	16	37.5	50.0	25.0	6.3	6.3	0.0	18.8	0.0
2 中学生女子	19	36.8	36.8	26.3	0.0	0.0	0.0	26.3	0.0
3 高校生男子	35	57.1	45.7	22.9	20.0	11.4	8.6	2.9	0.0
4 高校生女子	32	59.4	37.5	15.6	18.8	18.8	12.5	9.4	0.0

(3) 多量の飲酒を長時間続けることで影響がでると思うもの (問33)

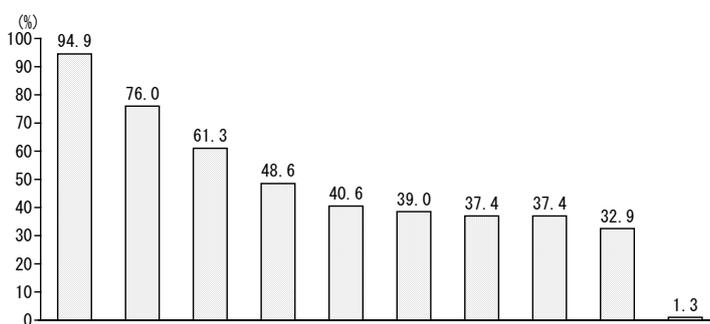
「アルコール依存症・アルコール中毒」が94.9%で最も多く、以下「肝臓病」(76.0%)、「妊娠(胎児)への悪影響」(61.3%)、「乳幼児・青少年の発達への悪影響」(48.6%)と続いている。

学年・性別で見ると、高校生男子では、「動脈硬化」(55.1%)、「脳卒中」(52.2%)、「糖尿病」(52.2%)などが他の学年・性別よりも高い。高校生女子では「妊娠(胎児)への悪影響」(72.4%)が高い。

また、「飲酒経験の有無(問32)」との関係を見ると、飲酒経験が「ない」人では、「妊娠(胎児)への悪影響」が58.0%、「乳幼児・青少年の発達への悪影響」が44.9%であるのに対し、飲酒経験が「ある」人ではそれぞれ10ポイント程度高い割合を示しており、飲酒による影響についてやや高い認識をしていることがうかがえる。

問33 多量の飲酒を長時間続けることで影響がでると思うもの(複数回答)

□ TOTAL n=313



中・高×性別	n	2	1	8	9	7	6	3	5	4	10
		アルコール依存症・アルコール中毒	肝臓病	妊娠(胎児)への悪影響	乳幼児・青少年の発達への悪影響	動脈硬化	がん	脳卒中	糖尿病	心臓病	無回答
0 TOTAL	313	94.9	76.0	61.3	48.6	40.6	39.0	37.4	37.4	32.9	1.3
1 中学生男子	70	94.3	75.7	54.3	42.9	37.1	41.4	28.6	27.1	24.3	2.9
2 中学生女子	94	91.5	69.1	58.5	50.0	33.0	44.7	31.9	27.7	33.0	2.1
3 高校生男子	69	94.2	84.1	60.9	56.5	55.1	33.3	52.2	52.2	43.5	0.0
4 高校生女子	76	100.0	78.9	72.4	47.4	42.1	35.5	39.5	46.1	30.3	0.0
1 ある	103	98.1	73.8	68.0	56.3	39.8	31.1	35.9	34.0	33.0	0.0
2 ない	207	93.7	77.3	58.0	44.9	41.5	43.0	38.2	39.6	32.9	1.4

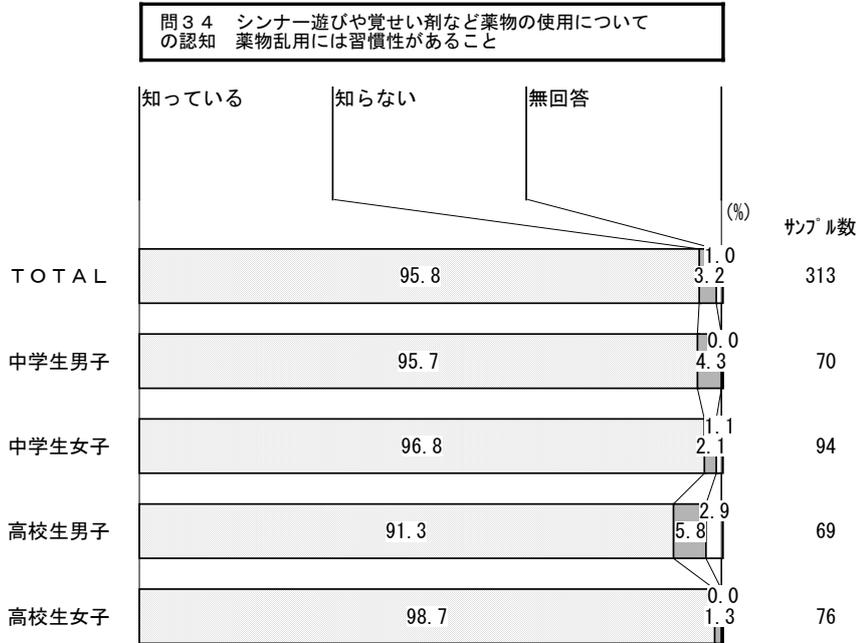
飲酒経験の有無

7 薬物について

(1) シンナー遊びや覚せい剤など薬物の使用についての認知 (問 34)

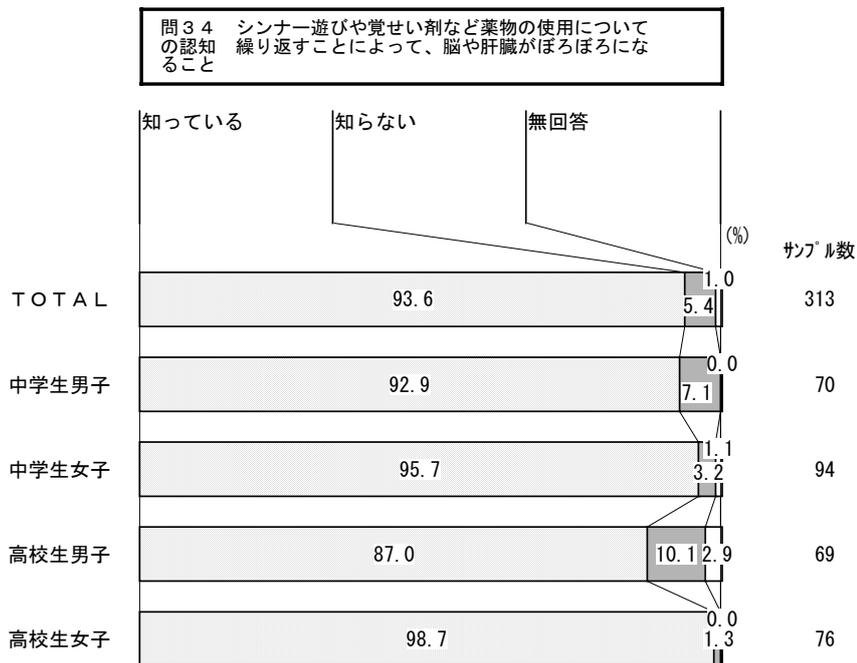
①薬物乱用には習慣性があること

「知っている」が95.8%、「知らない」が3.2%である。
 学年・性別で見ると、「知らない」と回答した人が中学生男子では4.3%、高校生男子では5.8%と女子に比べやや高くなっている。



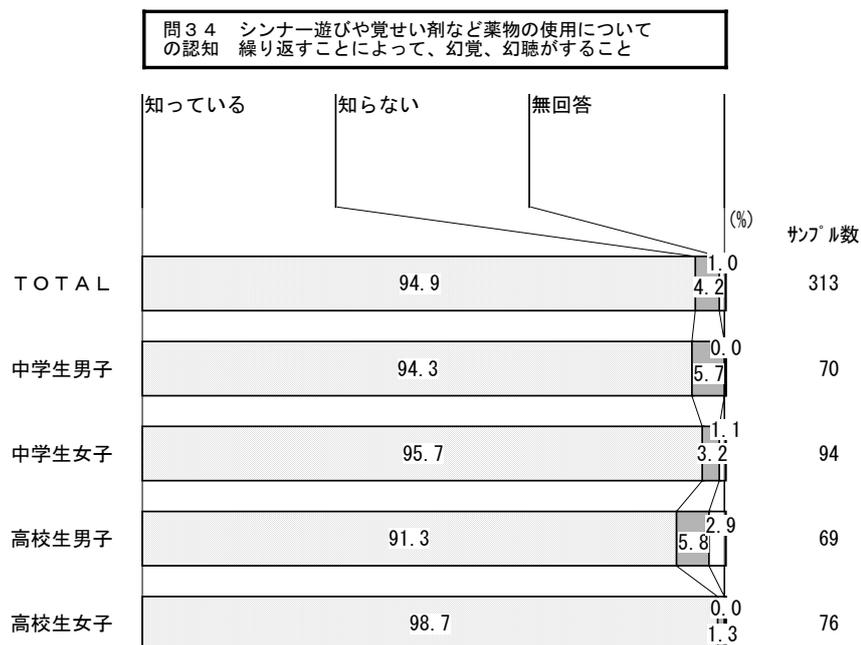
②繰り返すことによって、脳や肝臓がぼろぼろになること

「知っている」が93.6%、「知らない」が5.4%である。
 学年・性別で見ると、高校生男子では「知らない」が10.1%と他よりやや高くなっている。



③繰り返すことによって、幻覚、幻聴がすること

「知っている」が94.9%、「知らない」が4.2%となっている。

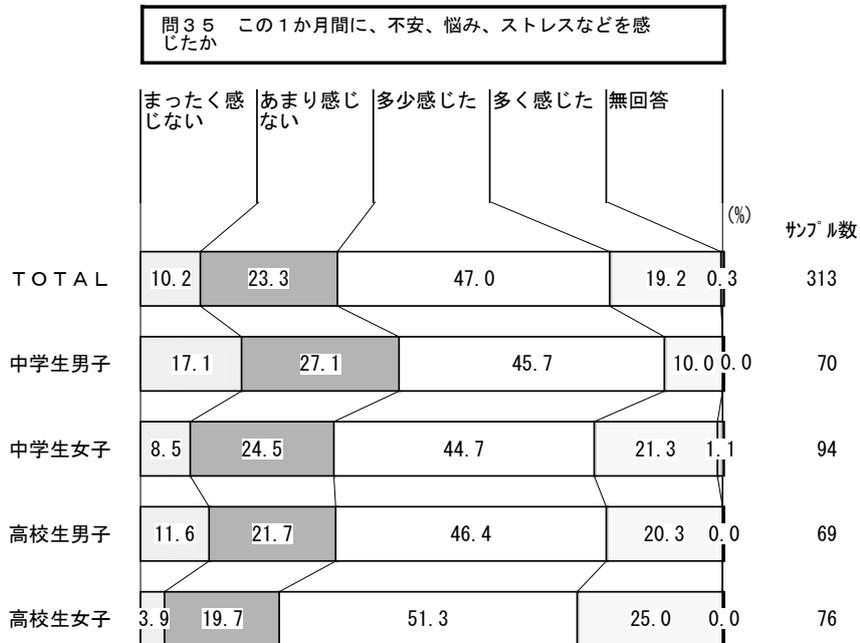


8 休養・心の健康について

(1) 不安、悩み、ストレスの有無（問35）

「多少感じた」は47.0%、「多く感じた」は19.2%で、6割以上が不安、悩み、ストレスを感じている。

学年・性別で見ると、高校生女子で「多少感じた」が51.3%、「多く感じた」が25.0%、合わせて7割以上とやや多い。

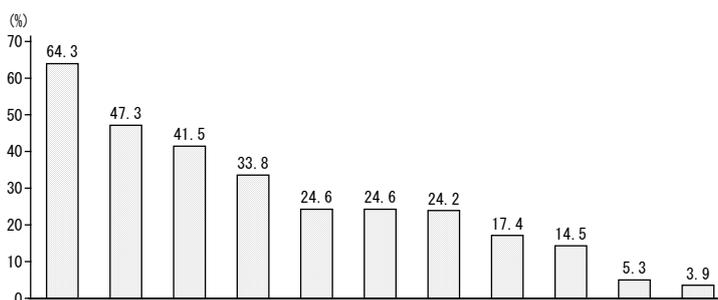


(2) 不安、悩み、ストレスなどの原因 (付問 35-1)

不安、悩み、ストレスなどの原因では、「勉強や進学のこと」が 64.3%で最も多く、次いで「部活動のこと」(47.3%)、「友だちのこと」(41.5%)、「将来のこと」(33.8%)である。

4区分とも「勉強や進学のこと」が最も高い。中学生男子では「家族のこと」(33.3%)「先生のこと」(30.8%)の割合が高く、中学生女子では「部活動のこと」(61.3%)「友だちのこと」(53.2%)の割合が高い。高校生では「将来のこと」の割合が中学生に比べ高い。女子は「容姿のこと」の割合が男子に比べ高い。

付問 35-1 不安、悩み、ストレスなどの原因 (複数回答)
 TOTAL n=207

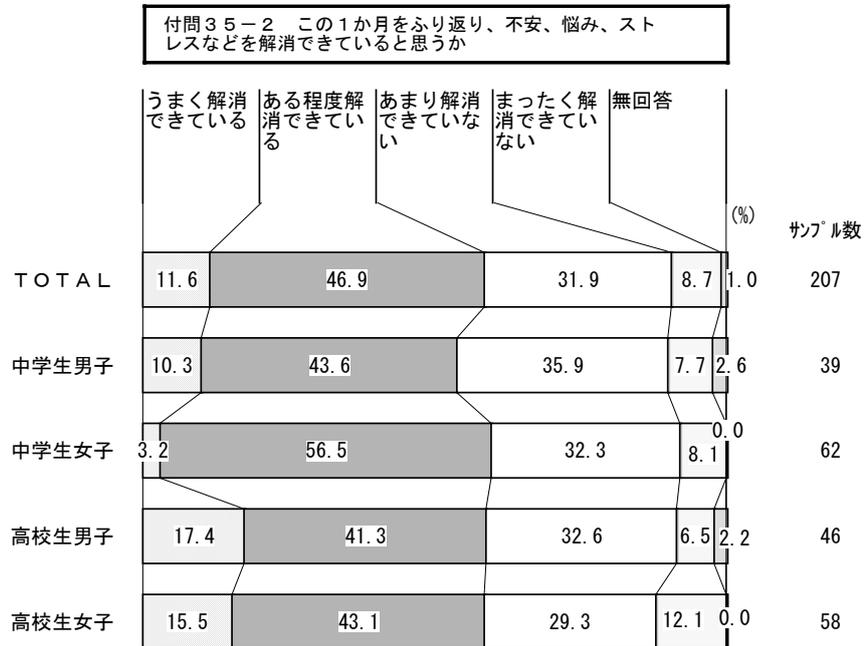


中・高×性別		n	1 勉強や進学のこと	9 部活動のこと	4 友だちのこと	2 将来のこと	3 家族のこと	7 容姿のこと	5 異性のこと	8 先生のこと	6 健康のこと	10 その他	11 無回答
0	TOTAL	207	64.3	47.3	41.5	33.8	24.6	24.6	24.2	17.4	14.5	5.3	3.9
1	中学生男子	39	64.1	41.0	41.0	23.1	33.3	15.4	17.9	30.8	7.7	0.0	0.0
2	中学生女子	62	61.3	61.3	53.2	24.2	17.7	29.0	22.6	21.0	11.3	8.1	4.8
3	高校生男子	46	67.4	41.3	30.4	47.8	28.3	21.7	28.3	10.9	21.7	4.3	6.5
4	高校生女子	58	67.2	43.1	39.7	39.7	20.7	29.3	27.6	10.3	17.2	6.9	3.4

(3) 不安、悩み、ストレスなどを解消できていると思うか (付問 35-2)

「あまり解消できていない」は 31.9%、「まったく解消できていない」は 8.7%で、約 4 割が不安、悩み、ストレスの解消が十分にできていない。

学年・性別でみると、中学生女子は「うまく解消できている」が 3.2%で、他と比べると割合が低い。

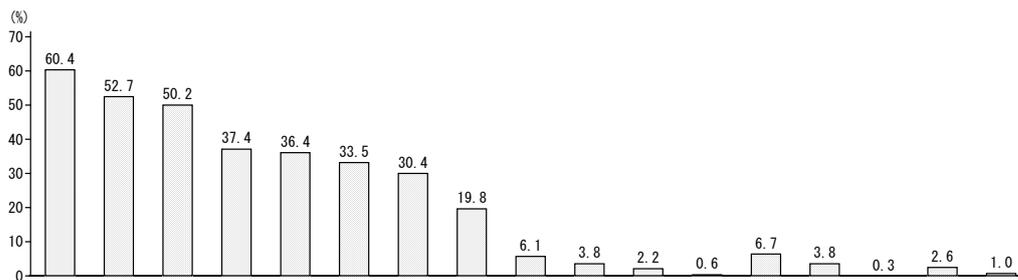


(4) 不安、悩み、ストレスへの対処 (問36)

不安、悩み、ストレスへの対処方法では、「睡眠をとる、休養をとる」が60.4%で最も多い。以下、「読書や音楽鑑賞をする」(52.7%)、「趣味に取り組む」(50.2%)、「家族や仲間と過ごす」(37.4%)、「運動をする」(36.4%)、「好きなものを食べる」(33.5%)、「友だち・先輩に相談する」(30.4%)となっている。

学年・性別でみると、中学生・高校生ともに、女子で「睡眠をとる、休養をとる」「好きなものを食べる」「友だち・先輩に相談する」「家族に相談する」、男子で「運動をする」が多い。

問36 不安、悩み、ストレスにどのように対処しているか (複数回答)
 □ TOTAL n=313

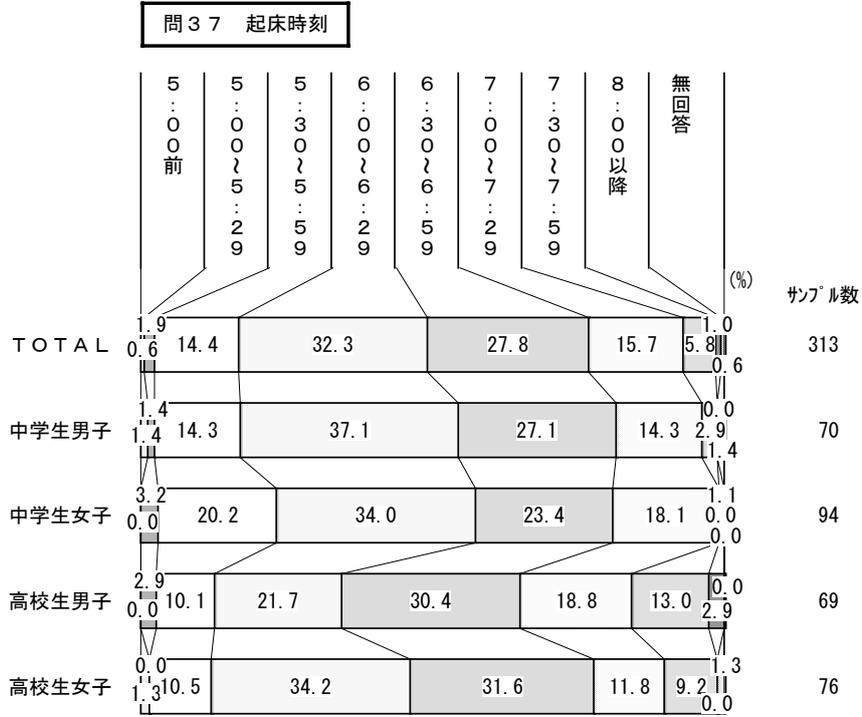


中・高×性別	n	4	2	3	6	1	5	7	8	11	9	12	10	13	14	15	16	17
		睡眠をとる、休養をとる	読書や音楽鑑賞をする	趣味に取り組む	家族や仲間と過ごす	運動をする	好きなものを食べる	友だち・先輩に相談する	家族に相談する	学校の先生に相談する(スクールカウンセラー含む)	インターネット上で相談をしいたり見たりする	病院・診療所を受診する	市の窓口、保健所・保健センターに相談する	その他で対処した、対処して	どのようによいかわからず、対処できていない	相談先がわからず、対処できていない	不安、悩み、ストレスは特に	無回答
0 TOTAL	313	60.4	52.7	50.2	37.4	36.4	33.5	30.4	19.8	6.1	3.8	2.2	0.6	6.7	3.8	0.3	2.6	1.0
1 中学生男子	70	45.7	47.1	47.1	27.1	40.0	27.1	12.9	12.9	8.6	2.9	1.4	1.4	4.3	5.7	0.0	5.7	1.4
2 中学生女子	94	69.1	51.1	56.4	39.4	33.0	30.9	39.4	25.5	9.6	3.2	1.1	0.0	7.4	3.2	1.1	3.2	1.1
3 高校生男子	69	52.2	59.4	50.7	40.6	42.0	33.3	29.0	14.5	4.3	8.7	4.3	1.4	7.2	2.9	0.0	1.4	1.4
4 高校生女子	76	69.7	53.9	43.4	42.1	31.6	42.1	38.2	25.0	1.3	1.3	2.6	0.0	7.9	2.6	0.0	0.0	0.0

(5) 起床時刻 (問 37)

起床時刻は「6:00～6:29」が32.3%で最も多く、次いで「6:30～6:59」が27.8%、「7:00～7:29」が15.7%である。

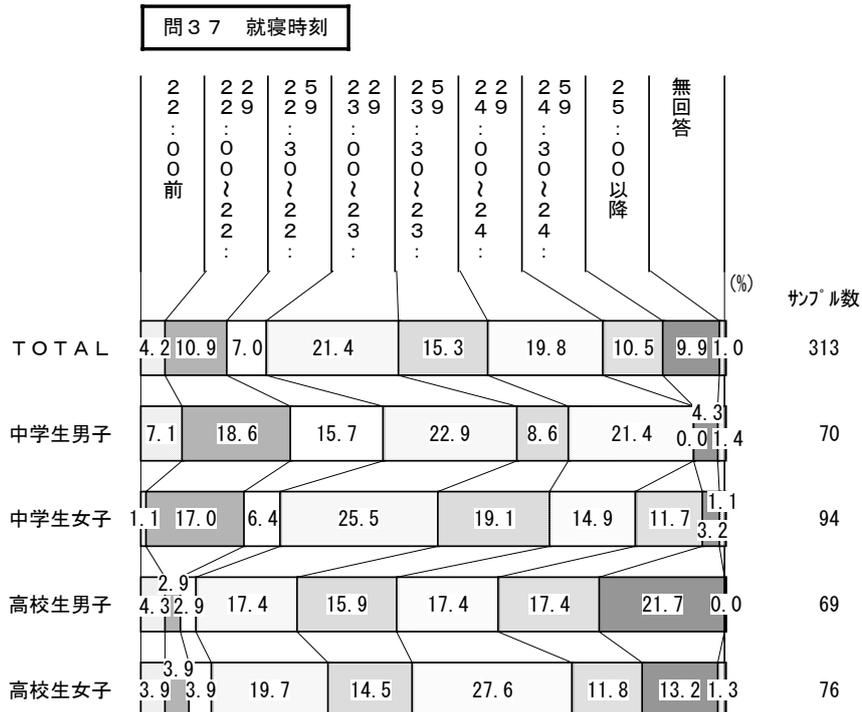
中学生では男子女子ともに7時までに起床する人が約8割なのに対し、高校生男子では6割強、高校生女子では7割強と、中学生の方が、起床時刻が早いことがうかがえる。



(6) 就寝時刻 (問 37)

就寝時刻は、「24:00～24:29」が19.8%、「24:30～24:59」が10.5%、「25:00以降」が9.9%で、24時以降に就寝する人が約4割である。

24時以降の就寝は、高校生男子が56.5%、高校生女子が52.6%である。

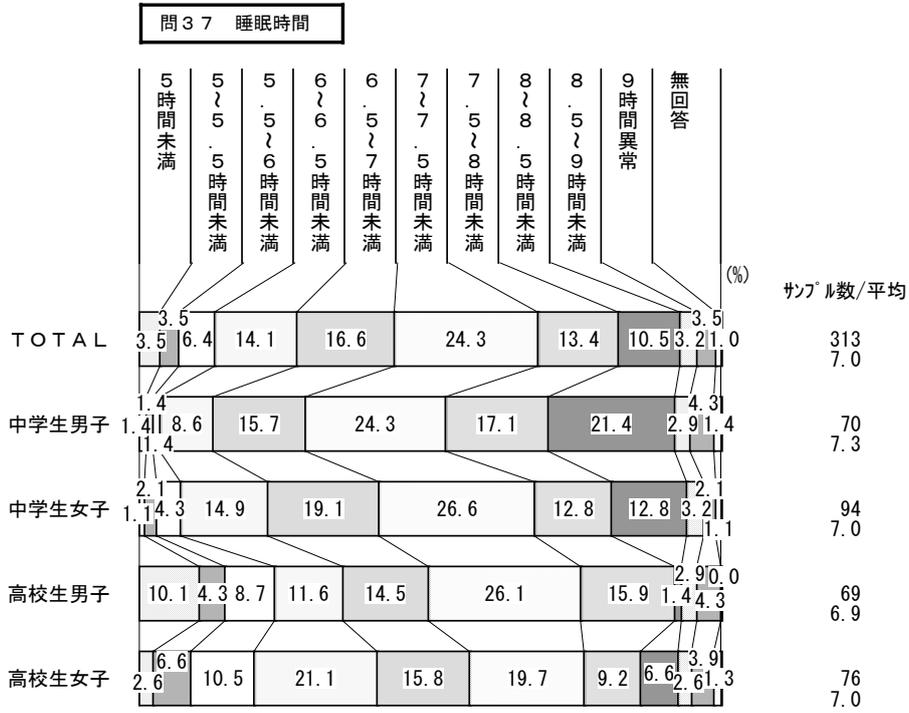


(7) 睡眠時間 (問 37)

問 37 の起床時刻と就寝時刻をもとに睡眠時間を算出した。

「5 時間未満」が 3.5%、「5～5.5 時間未満」が 3.5%、「5.5～6 時間未満」が 6.4%、「6～6.5 時間未満」が 14.1%、「6.5～7 時間未満」が 16.6%、睡眠時間 7 時間未満は合わせて 44.1%である。

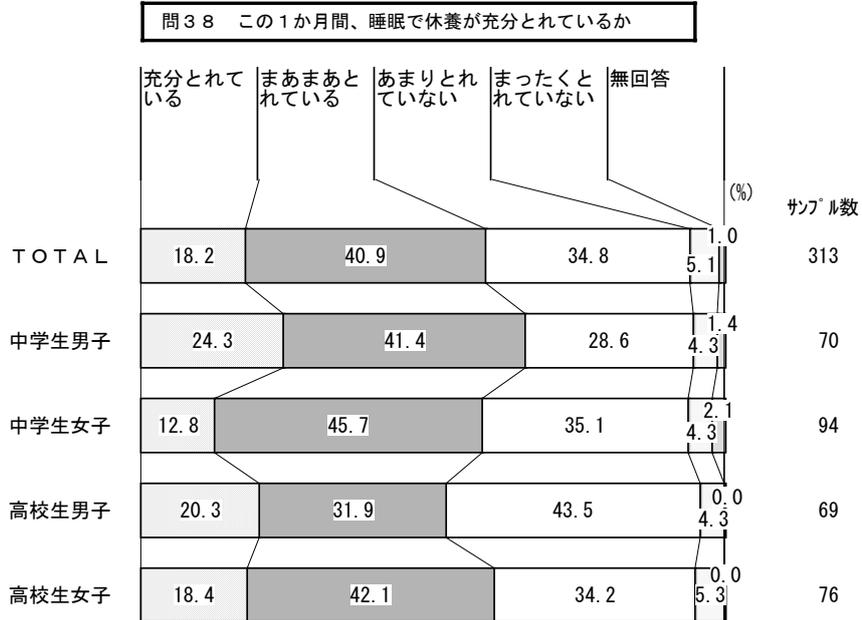
学年・性別でみると、睡眠時間が 7 時間未満の割合は、中学生男子が 28.5%、中学生女子が 41.5%、高校生男子が 49.2%、高校生女子が 56.6%である。特に高校生男子では「5 時間未満」が約 1 割で、睡眠時間が充分とれていない状況がうかがえる。



(8) 睡眠で休養が充分とれているか (問 38)

「あまりとれていない」が 34.8%、「まったくとれていない」が 5.1%で、約 4 割が休養をとれていないと感じている。

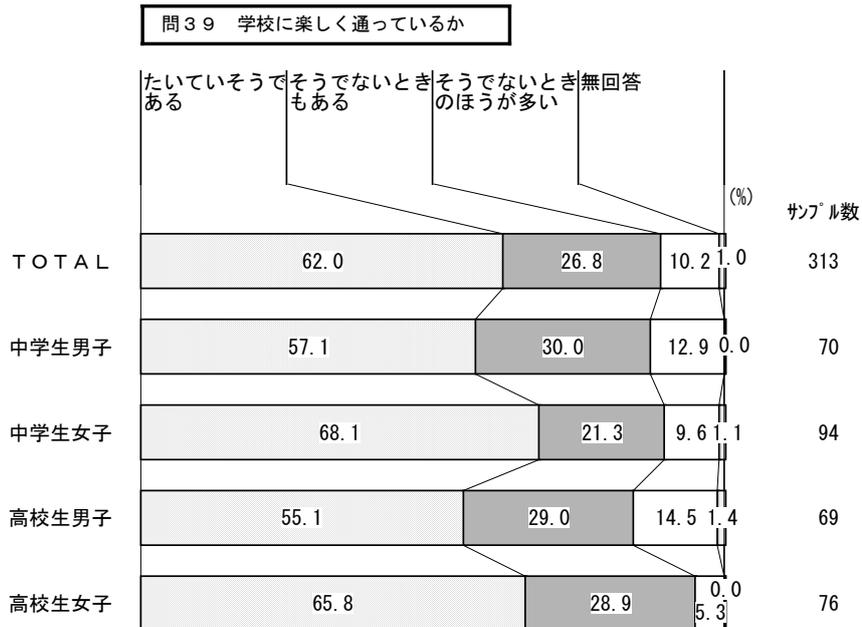
学年・性別でみると、高校生男子では、「あまりとれていない」43.5%、「まったくとれていない」が 4.3%、合わせて約 5 割は休養が充分でないと感じている。



(9) 学校に楽しく通っているか (問 39)

学校に楽しく通っているかについて、「たいていそうである」は 62.0%である。一方、「そうでもないときもある」が 26.8%、「そうでないときのほうが多い」が 10.2%で、合わせて 37.0%が楽しくないときがあると回答している。

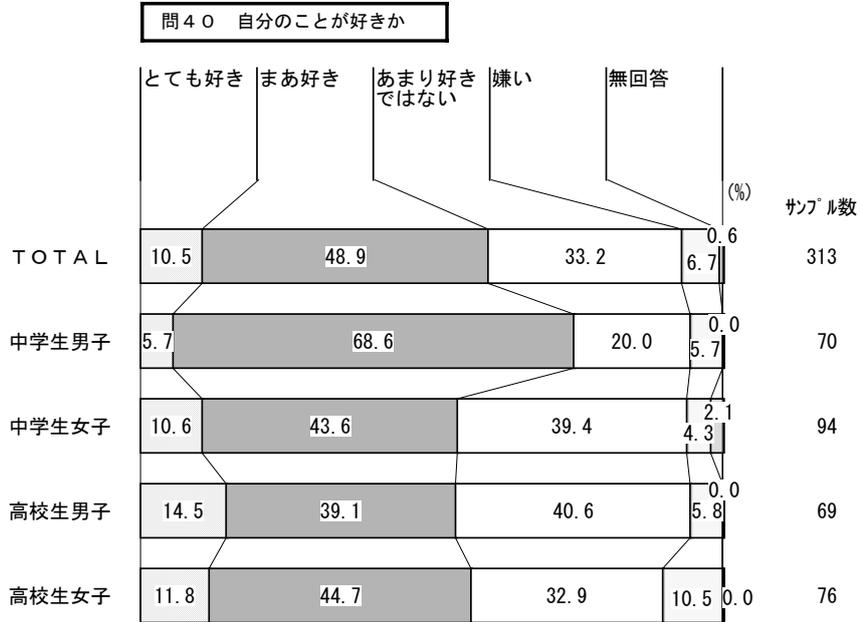
高校生男子では、「そうでないときのほうが多い」が 14.5%でやや割合が高い。



9 人づきあいなどについて

(1) 自分のことが好きか (問 40)

自分のことが「とても好き」は 10.5%、「まあ好き」は 48.9%と、合わせて 59.4%が肯定的評価である。「あまり好きではない」は 33.2%、「嫌い」は 6.7%である。
 学年・性別では、中学生男子では「まあ好き」が 68.6%で、他よりも割合が高い。



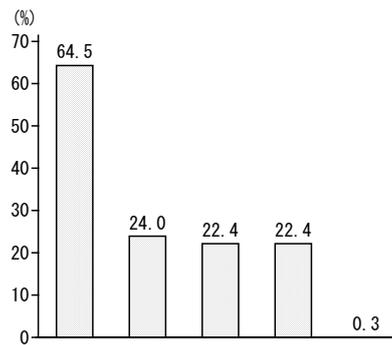
(2) 学校であったこと、友達のこと、遊びのことなどを家族に話すか (問41)

「母親とよく話している」が64.5%、「父親とよく話している」は22.4%、「それ以外の家族とよく話している」は24.0%である。一方、「あまり家族とは話さない・話す機会がない」は22.4%である。

中学生男子では、「あまり家族とは話さない・話す機会がない」が32.9%で他よりも多い。中学生女子では、「母親とよく話している」が71.3%でやや多い。高校生男子では、「それ以外の家族とよく話している」が31.9%でやや多い。

問41 学校であったこと、友達のこと、遊びのことなどを家族に話すか (複数回答)

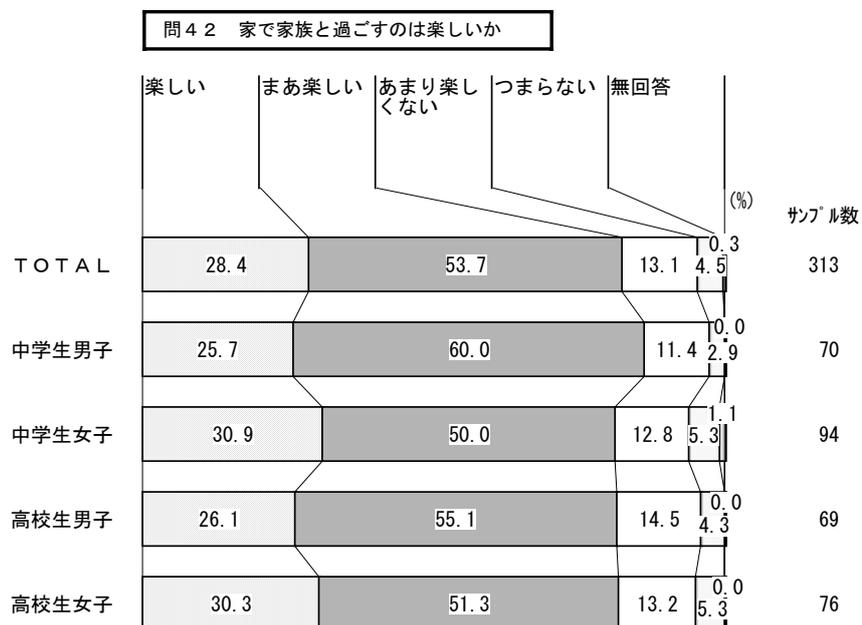
□ TOTAL n=313



		2	3	1	4	5	
		母親とよく話している	それ以外の家族とよく話している	父親とよく話している	あまり家族とは話さない・話す機会がない	無回答	
中・高×性別	n						
0	TOTAL	313	64.5	24.0	22.4	22.4	0.3
1	中学生男子	70	51.4	22.9	22.9	32.9	1.4
2	中学生女子	94	71.3	24.5	20.2	14.9	0.0
3	高校生男子	69	62.3	31.9	26.1	23.2	0.0
4	高校生女子	76	69.7	17.1	19.7	21.1	0.0

(3) 家で家族と過ごすのは楽しいか (問42)

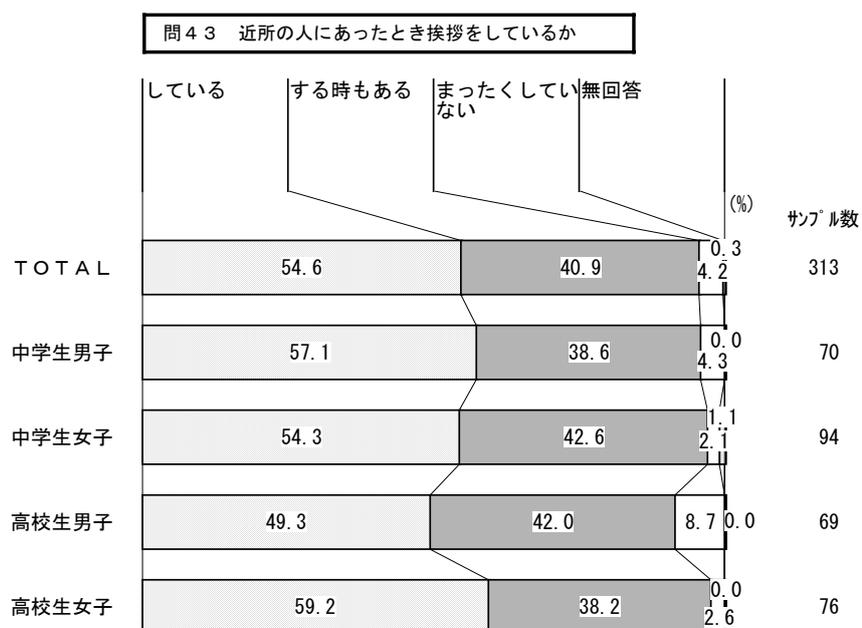
家で家族と過ごすのは「楽しい」が28.4%、「まあ楽しい」が53.7%で、82.1%が肯定的である。一方、「あまり楽しくない」は13.1%、「つまらない」は4.5%である。



(4) 近所の人に挨拶をしているか (問43)

近所の人に挨拶をしているかについて、「している」が54.6%、「する時もある」が40.9%、「まったくしていない」が4.2%である。

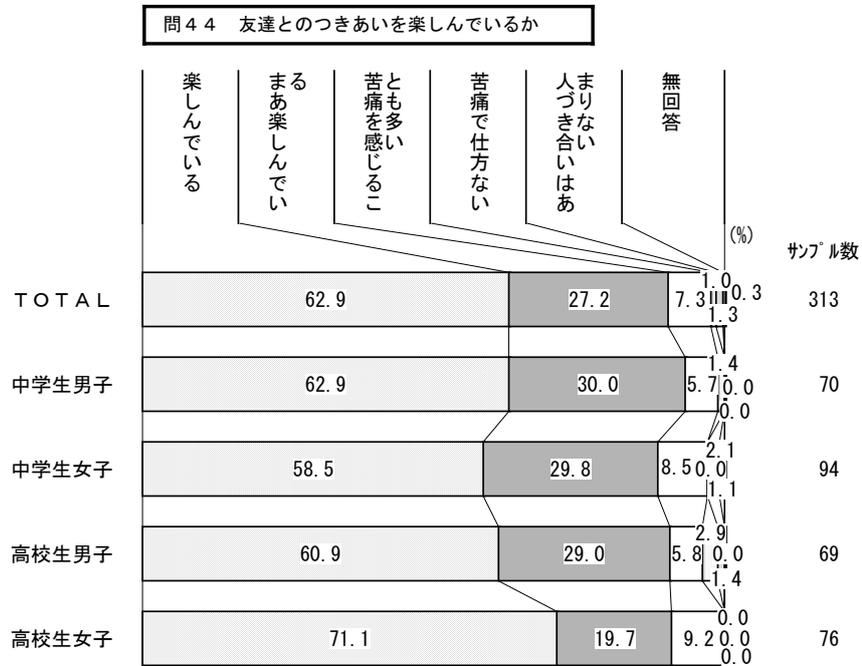
高校生女子では「している」が59.2%で、高校生男子に比べて9.9ポイント高い。高校生男子では「まったくしていない」が8.7%である。



(5) 友達とのつきあいを楽しんでいるか (問 44)

「楽しんでいる」が 62.9%、「まあ楽しんでいる」が 27.2%で、合わせて 90.1%が肯定的意見である。一方、「苦痛を感じることも多い」が 7.3%、「苦痛で仕方ない」が 1.0%、「人づき合いはあまりない」が 1.3%である。

高校生女子は「楽しんでいる」と回答した人が 71.1%で多い。



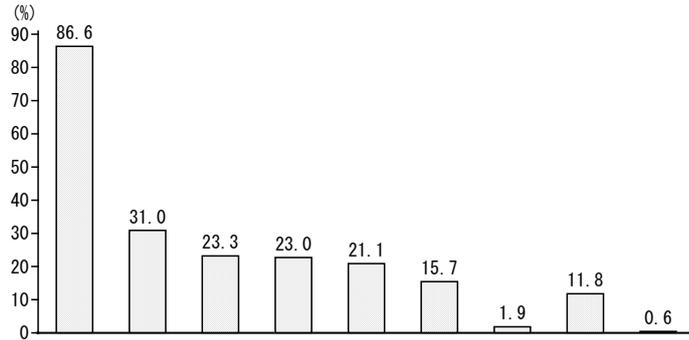
10 性について

(1) 知っている性感染症（問45）

知っている性感染症では「エイズ」が86.6%で最も多い。以下、「クラミジア」(31.0%)、「性器ヘルペス」(23.3%)、「梅毒」(23.0%)、「淋病」(21.1%)、「尖形コンジローム」(15.7%)と続いている。「まったく知らない」は11.8%である。

中学生では、「エイズ」以外の感染症は1割未満から2割程度の認知にとどまっているのに対し、高校生では、「クラミジア」が男女とも約5割、「性器ヘルペス」「梅毒」「淋病」「尖形コンジローム」の認知度は約2割～4割まで上がっている。

問45 知っている性感染症（複数回答）
 TOTAL n=313

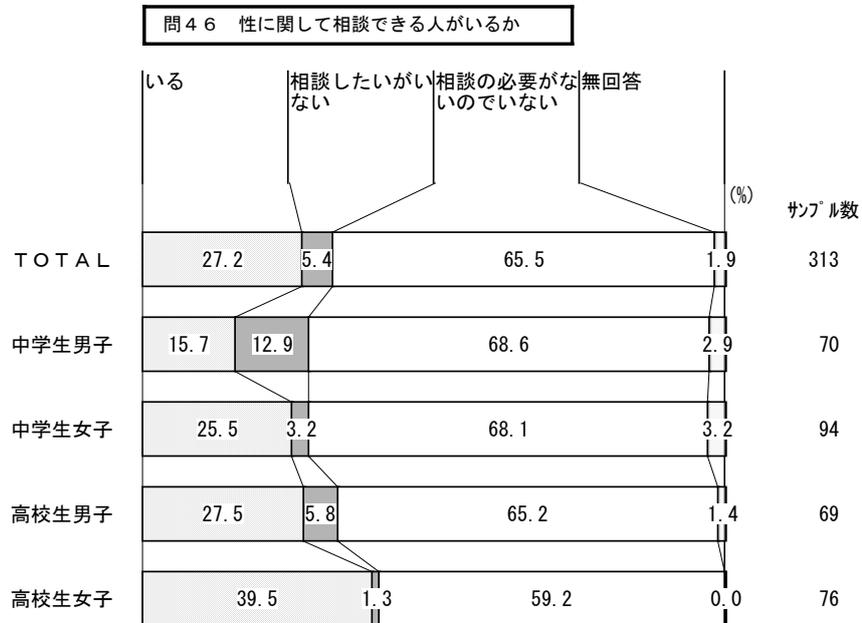


中・高×性別	n	3	4	5	2	1	6	7	8	9
		エイズ	クラミジア	性器ヘルペス	梅毒	淋病	尖形コンジローム	その他	まったく知らない	無回答
0 TOTAL	313	86.6	31.0	23.3	23.0	21.1	15.7	1.9	11.8	0.6
1 中学生男子	70	71.4	12.9	10.0	10.0	12.9	5.7	1.4	25.7	1.4
2 中学生女子	94	80.9	13.8	21.3	11.7	7.4	11.7	2.1	17.0	1.1
3 高校生男子	69	94.2	50.7	33.3	34.8	33.3	26.1	4.3	4.3	0.0
4 高校生女子	76	100.0	52.6	30.3	39.5	35.5	21.1	0.0	0.0	0.0

(2) 性に関して相談できる人がいるか (問46)

性に関して相談できる人がいるかについて、「いる」が 27.2%、「相談したいがない」が 5.4%である。「相談の必要がないのでいない」が 65.5%で最も多い。

中学生男子では「相談したいがない」は 12.9%で他と比べて多い。一方、高校生女子では「いる」が 39.5%、「相談したいがない」が 1.3%で、相談相手がいることがうかがえる。

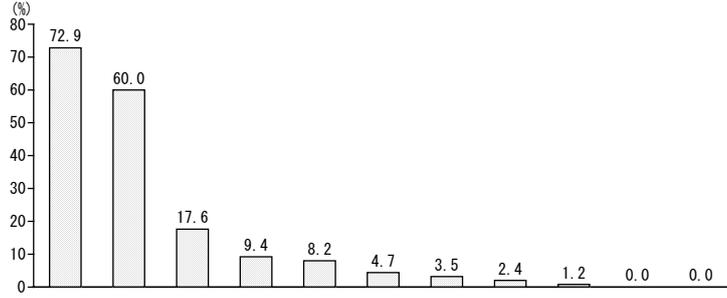


(3) 相談相手はだれか (付問 46-1)

問 46 で、相談相手が「いる」と答えた人に、相談相手はだれかたずねた。「友だち」が 72.9%で最も多く、次いで「家族」が 60.0%、「先輩」が 17.6%と続いている。「学校(塾)の先生」は 8.2%にとどまっている。

中学生男子は「友だち」が 90.9%と特に多い。中学生女子は「家族」が 70.8%と多い。高校生男子は「友だち」(84.2%)「家族」(47.4%)とともに「先輩」(36.8%)が多い。高校生女子は「友だち」(73.3%)「家族」(60.0%)が多い。

付問 46-1 相談相手はだれか (複数回答)
 □ TOTAL n=85



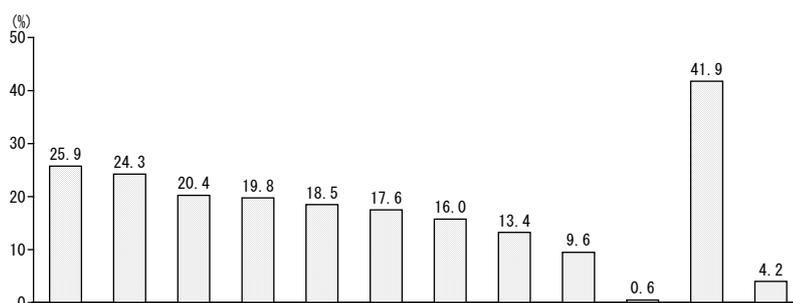
中・高×性別	n	3	2	4	5	1	6	7	8	9	10	11
		友だち	家族	先輩	知人	学校(塾)の先生	病院・診療所	インターネット	電話相談	その他	特にない	無回答
0 TOTAL	85	72.9	60.0	17.6	9.4	8.2	4.7	3.5	2.4	1.2	0.0	0.0
1 中学生男子	11	90.9	54.5	9.1	9.1	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0
2 中学生女子	24	58.3	70.8	12.5	4.2	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3 高校生男子	19	84.2	47.4	36.8	15.8	0.0	10.5	5.3	5.3	0.0	0.0	0.0
4 高校生女子	30	73.3	60.0	13.3	10.0	13.3	6.7	3.3	3.3	3.3	0.0	0.0

(4) 性に関して知りたいと思うこと (問47)

「特にない」が41.9%である。知りたいと思う項目では、「男女交際」が25.9%で最も多く、次いで「思春期の心理」(24.3%)、「妊娠・出産」(20.4%)、「性感染症」(19.8%)、「結婚の意義」(18.5%)、「セックス」(17.6%)、「女性の身体のしくみ」(16.0%)となっている。

男子では「セックス」の割合が高く、中学生男子では「男性の身体のしくみ」が17.1%で他と比べ割合が高い。高校生男子では「男女交際」(34.8%)の割合が高い。女子では「妊娠・出産」の割合が男子に比べ高く、中学生女子では「思春期の心理」が29.8%で他よりもやや高い。

問47 性に関して知りたいと思うこと (複数回答)
 □ TOTAL n=313



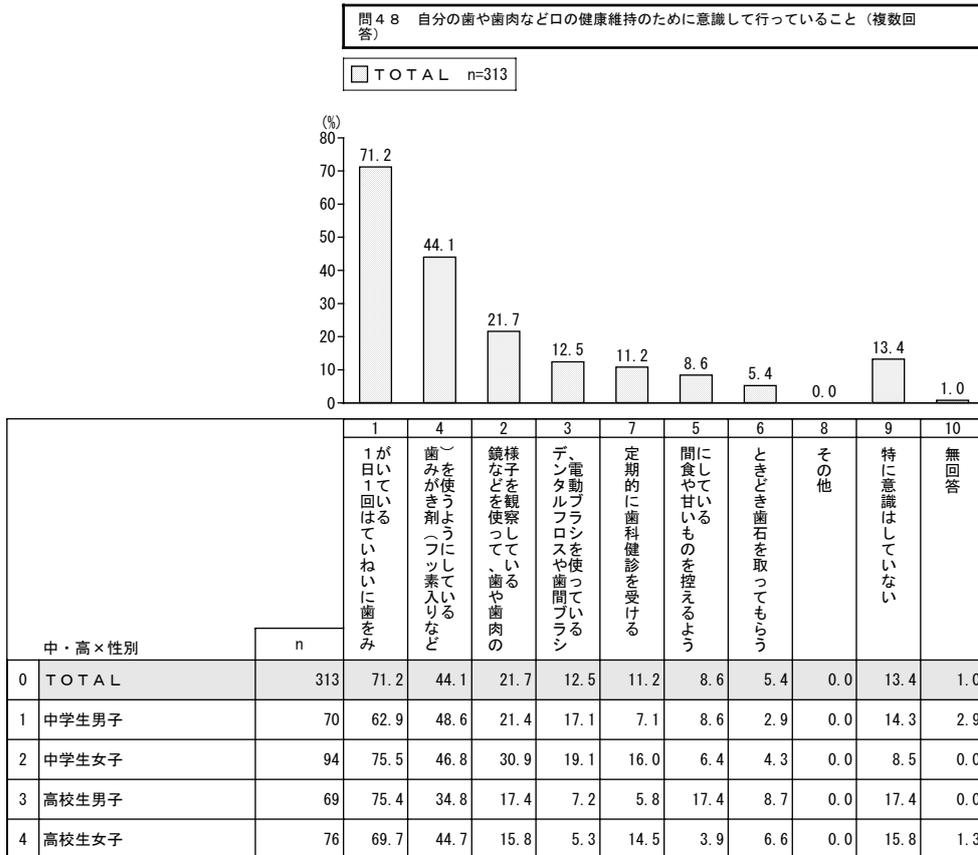
中・高×性別	n	4	3	7	9	5	6	2	8	1	10	11	12
		男女交際	思春期の心理	妊娠・出産	性感染症	結婚の意義	セックス	女性の身体のしくみ	避妊	男性の身体のしくみ	その他	特にない	無回答
0 TOTAL	313	25.9	24.3	20.4	19.8	18.5	17.6	16.0	13.4	9.6	0.6	41.9	4.2
1 中学生男子	70	25.7	22.9	8.6	14.3	15.7	28.6	18.6	5.7	17.1	1.4	45.7	2.9
2 中学生女子	94	20.2	29.8	21.3	18.1	18.1	13.8	14.9	14.9	9.6	1.1	47.9	5.3
3 高校生男子	69	34.8	24.6	14.5	21.7	20.3	24.6	24.6	13.0	8.7	0.0	33.3	4.3
4 高校生女子	76	25.0	19.7	36.8	25.0	21.1	6.6	7.9	19.7	3.9	0.0	38.2	3.9

11 歯の健康について

(1) 口の健康維持のために意識して行っていること (問 48)

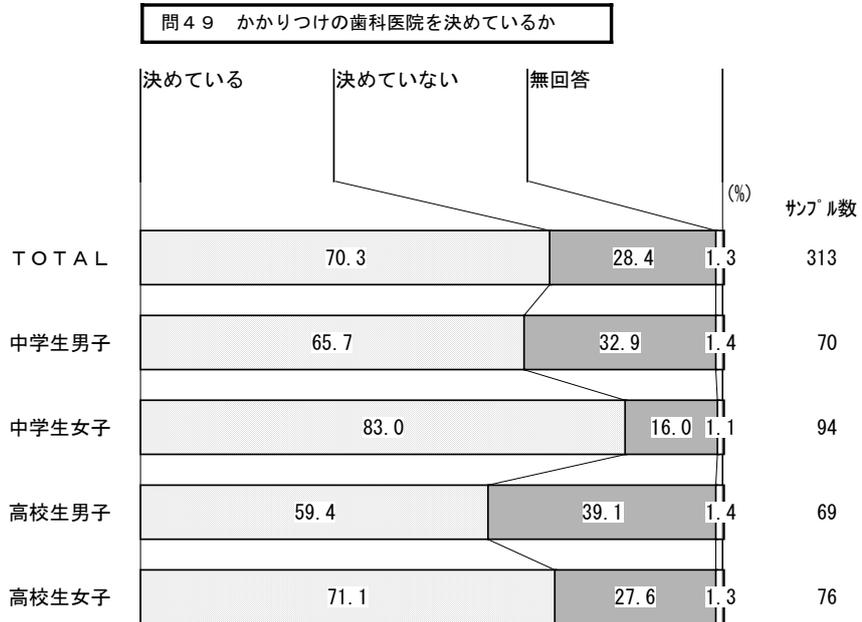
口の健康維持のために意識していることでは、「1日1回はていねいに歯をみがいている」が71.2%で最も多い。次いで「歯みがき剤（フッ素入りなど）を使うようにしている」が44.1%、「鏡などを使って、歯や歯肉の様子を観察している」が21.7%である。「特に意識はしていない」は13.4%である。

中学生女子では、「鏡などを使って、歯や歯肉の様子を観察している」が30.9%と他の学年・性別より多い。中学生女子は「特に意識はしていない」が8.5%と他よりも口の健康維持に対して意識が高いことがうかがえる。高校生男子では「間食や甘いものを控えるようにしている」が17.4%と他の学年・性別より多い。



(2) かかりつけの歯科医院を決めているか (問 49)

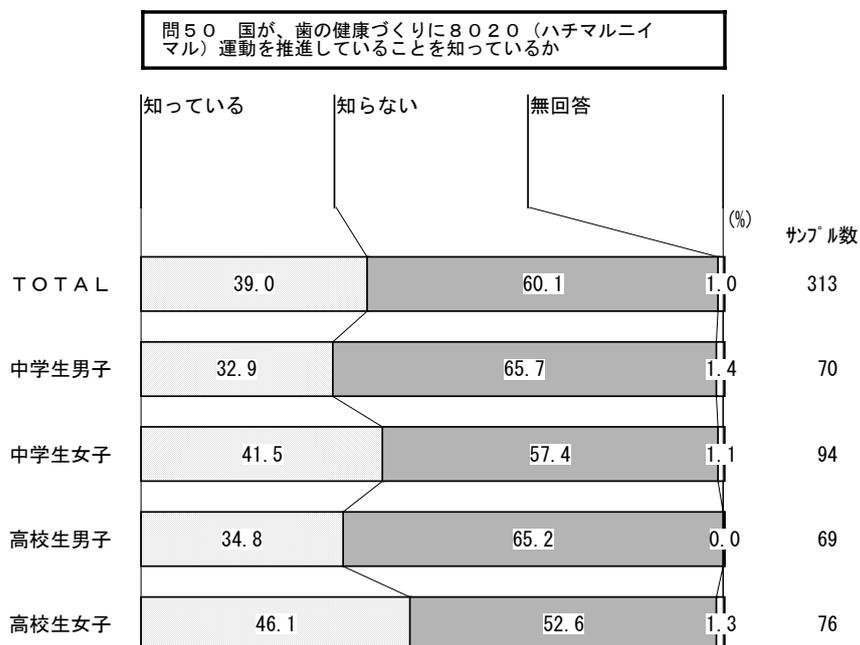
かかりつけの歯科医院を「決めている」が70.3%、「決めていない」が28.4%である。
 中学生女子では83.0%がかかりつけの歯科医院を決めているのに対し、高校生男子
 では59.4%にとどまっている。



(3) 8020 (ハチマルニイマル) 運動の認知 (問50)

「8020 (ハチマルニイマル) 運動」を「知っている」が39.0%、「知らない」が60.1%で、認知しているのは約4割にとどまっている。

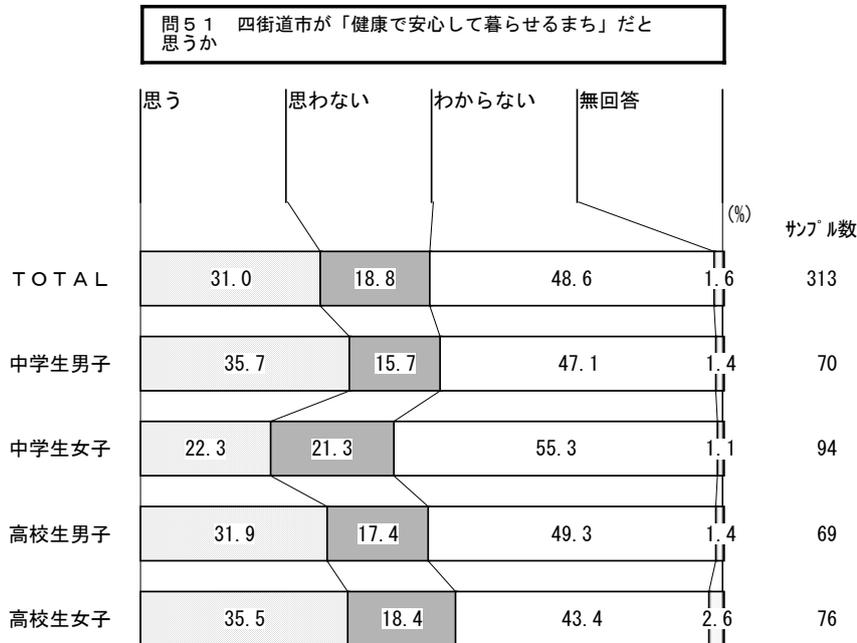
中学生、高校生ともに女子のほうが「知っている」と回答した人が多い。



12 まちづくりについて

(1) 四街道市が「健康で安心して暮らせるまち」だと思うか (問51)

四街道市が「健康で安心して暮らせるまち」だと思うかについて、「思う」が31.0%、「思わない」が18.8%、「わからない」が48.6%である。



(2) 四街道市を「健康で安心して暮らせるまち」にするため、何か活動しようと思うか (問52)

「思う」が15.3%、「思わない」が29.1%、「わからない」が52.7%である。
中学生、高校生ともに男子のほうが「思わない」がやや多く、中学生男子が32.9%、高校生男子が36.2%である。

